



神奈川県

令和6年2月8日

令和6年度当初予算（案）主要施策の概要

とまにまきる

翔子

福祉子どもみらい局

問合せ先
福祉子どもみらい局総務室
企画調整担当課長 中島
電話 045-210-3620

目	次	ページ
I	令和6年度当初予算(案)前年度予算比較表	1
II	令和6年度主要事業体系図	3
III	令和6年度主要事業の概要	
	子ども・子育てへの支援	
	施策1 子ども・子育てを支える社会環境の整備	10
	施策2 支援を必要とする子ども・家庭への取組	18
	施策3 若者が心豊かに育ち自立できる社会づくり	23
	施策4 希望に満ち信頼あふれる学校づくり	25
	高齢福祉施策の推進	
	施策5 高齢者が安心して、元気に、いきいきと暮らせる社会づくり	28
	施策6 地域における保健・医療体制の整備	34
	施策7 保健・医療・福祉人材の育成・確保と働きやすい環境づくり	35
	共生社会実現への取組	
	施策8 神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例 ～ともに生きる社会を目指して～ に基づく取組の実践	39
	施策9 困難な問題を抱える女性等への支援 及び人権・男女共同参画施策の推進	49
	生活困窮者等への支援	
	施策10 生活困窮者支援の推進	52
	施策11 とともに生き支えあう地域社会づくり	55
IV	参考 介護・医療・児童関係費	59

(注) 各資料中の金額は、表示未満単位切り捨てのため合計と符合しないことがある。

I 令和6年度当初予算（案）前年度予算比較表

(1) 一般会計

(単位：千円)

内 訳 科目	令和6年度 当初予算額 A	令和5年度 当初予算額 B	対前年度比較		令和6年度の財源内訳			
			増減額 A-B	伸率 A/B	特定財源			一般財源
					国庫 支出金	県債	その他	
(款) 総務費	1,706,978	609,348	1,097,630	280.1%	918,209	0	289,936	498,833
(項) 青少年費	1,706,978	609,348	1,097,630	280.1%	918,209	0	289,936	498,833
(款) 民生費	353,630,024	346,350,132	7,279,892	102.1%	18,951,795	578,000	15,871,924	318,228,305
(項) 社会福祉費	17,153,515	16,099,498	1,054,017	106.5%	2,140,948	-	1,122,742	13,889,825
(項) 障害福祉費	87,686,290	79,064,511	8,621,779	110.9%	4,393,461	47,000	933,462	82,312,367
(項) 老人福祉費	122,750,864	133,821,701	△ 11,070,837	91.7%	2,673,886	309,000	5,500,273	114,267,705
(項) 生活保護費	8,881,106	8,709,188	171,918	102.0%	5,554,132	-	52,000	3,274,974
(項) 児童福祉費	117,158,249	108,655,234	8,503,015	107.8%	4,189,368	222,000	8,013,616	104,733,265
使途を指定しない収入	-	-	-	-	-	-	249,831	△ 249,831
(款) 教育費	66,939,281	66,004,297	934,984	101.4%	18,152,800	-	241,889	48,544,592
(項) 私学振興費	66,939,281	66,004,297	934,984	101.4%	18,152,800	-	241,889	48,544,592
福祉子ども みらい局 計	422,276,283	412,963,777	9,312,506	102.3%	38,022,804	578,000	16,403,749	367,271,730

(2) 特別会計

ア 介護保険財政安定化基金会計

(単位：千円)

内 訳 科目	令和6年度	令和5年度	対前年度比較		令和6年度の 財 源 内 訳	
	当初予算額 A	当初予算額 B	増減額 A-B	伸率 A/B	財産収入	諸収入
(款)介護保険財政安定化費	725	5,801	△ 5,076	12.5%	724	1
(項)積立金	725	5,801	△ 5,076	12.5%	724	1

イ 母子父子寡婦福祉基金会計

(単位：千円)

内 訳 科目	令和6年度	令和5年度	対前年度比較		令和6年度の 財 源 内 訳				
	当初予算額 A	当初予算額 B	増減額 A-B	伸率 A/B	貸付金 収 入	繰入金	繰越金	諸収入	県債
(款)母子父子寡婦福祉資金	1,821,241	1,381,731	439,510	131.8%	458,130	27,295	1,334,043	1,773	-
(項)貸付金	340,000	350,000	△ 10,000	97.1%	-	-	339,999	1	-
(項)事務費	29,667	19,193	10,474	154.6%	600	27,295	-	1,772	-
(項)繰出金	225,775	40,307	185,468	皆増	-	-	225,775	-	-
(項)公債費	454,290	81,100	373,190	皆増	-	-	454,290	-	-
(項)予備費	771,509	891,131	△ 119,622	86.6%	457,530	-	313,979	-	-

(3) 福祉子どもみらい局合計

(単位：千円)

内 訳 科目	令和6年度	令和5年度	対前年度比較	
	当初予算額 A	当初予算額 B	増減額 A-B	伸率 A/B
合 計	424,098,249	414,351,309	9,746,940	102.4%

Ⅱ 令和6年度主要事業体系図

【事業の対象区域】

- ① 全市町村
- ② 政令市を除く市町村
- ③ 政令市・中核市を除く市町村
- ④ 政令市・中核市・保健所政令市を除く市町村
- ⑤ 横浜市、川崎市を除く市町村
- ⑥ 町村のみ
- ⑦ 特定市町村
- ⑧ その他

子ども・子育てへの支援

施策1
子ども・子育て
を支える社会
環境の整備

1 結婚・妊娠・出産・
育児の切れ目ない支
援

ア	恋カナ！プロジェクト事業費	4,179万円 ①
イ	マッチングアプリ利用促進連携事業費	462万円 ①
ウ	結婚新生活支援事業推進費補助	10億8,810万円 ①
エ	一部(新) 小児医療費助成事業費補助	74億5,094万円 ①
オ	一部(新) ひとり親家庭等医療費助成事業費補助	19億 973万円 ①
カ	(新) 手ぶらで保育スタートアップ支援事業費補助	1億7,191万円 ①
キ	保育所等紙おむつ処分事業費補助	1億1,478万円 ①
ク	保育所等感染症対策設備整備事業費補助	4,554万円 ③
ケ	インクルーシブ保育推進事業費	99万円 ①
コ	(新) インクルーシブ保育推進地域モデル事業費	1,053万円 ①
サ	(新) 私立幼稚園等子ども・子育て支援機能向上事業費補助	6,000万円 ①
シ	放課後児童健全育成事業費補助(投資)	1億4,136万円 ①
ス	(新) 放課後児童クラブ施設整備等支援事業費補助	1,005万円 ①
セ	(新) ひとり親家庭放課後児童クラブ利用料支援事業費補助	1億1,655万円 ①
ソ	(新) 私立学校防犯対策強化事業費補助	1億円 ①
タ	一部(新) 私立高等学校等生徒学費補助金等	42億1,720万円 ①
チ	外国人学校生徒等学費補助金	1億7,705万円 ①
ツ	地域少子化対策重点推進交付金事業費補助(市町村事業)	2億1,275万円 ①
テ	(新) 子どものオンライン学習支援モデル事業費	542万円 ①
ト	(新) こどもの居場所づくり推進モデル創出事業費	682万円 ①

2 あたたかいコミュニ
ティの創出

ア	子育てパーソナルサポート事業費	930万円 ①
イ	(新) 子育てパーソナルサポート機能強化事業費	2,000万円 ①
ウ	(新) 市町村申請手続きデジタル化事業費補助	1億円 ①
エ	子どもの生活状況調査事業費	1,973万円 ①
オ	(新) 子ども・子育て充実市町村提案事業費補助	5,009万円 ①

3 社会全体で、子ど
も・子育てを応援する
機運醸成

ア	こどもまんなか機運醸成事業費	2,763万円 ①
イ	子どもの意見聴取機会の創出事業費	300万円 ①
ウ	(新) デジタル版子どもの意見聴取機会の創出事業費	1,254万円 ①
エ	(新) 子ども政策提案事業費	1,000万円 ①

4 幼児期の教育・保
育の提供体制の確
保・充実等

(1)幼稚園教諭、保育士、
保育教諭の確保・育成

ア	地域限定保育士試験実施事業費	7,597万円 ①
イ	保育エキスパート等養成事業費	7,343万円 ①
ウ	子ども・子育て支援人材確保育成事業費	9,858万円 ①
エ	(ア) 保育士・保育所支援センター事業費	920万円 ①
	(イ) 保育士等確保対策事業費	28万円 ①
	(ウ) 子育て支援員研修事業費	1,600万円 ①
	(エ) 放課後児童支援員認定資格研修事業費	2,103万円 ①
	(オ) 放課後児童支援員等資質向上研修事業費	1,783万円 ①
エ	保育補助者雇上強化事業費補助	3,954万円 ③
オ	保育体制強化事業費補助	2億3,576万円 ①
カ	養成施設就職促進事業費	252万円 ③
キ	短時間保育士雇上事業費補助	834万円 ③
ク	幼稚園教員復帰等支援事業費	172万円 ①

(2)ニーズに応じた幼児
期の教育・保育の提供

ア	子ども・子育て支援給付費負担金	629億2,425万円 ①
(ア)	施設型給付費負担金	580億6,820万円 ①
(イ)	地域型保育給付費負担金	48億5,604万円 ①
イ	私設保育施設等利用給付費負担金	8億6,756万円 ①
ウ	医療的ケア児受入促進事業費	130万円 ③
エ	保育環境向上等事業費補助	3,688万円 ③
オ	私立幼稚園等預かり保育推進費補助	2億6,531万円 ①
カ	私立幼稚園利用給付費負担金	34億9,797万円 ①
キ	実費徴収補給給付事業費補助(私立幼稚園)	2,681万円 ①
ク	私立幼稚園施設整備費等補助	2億 938万円 ①
ケ	安心こども交付金事業費	197万円 ①
(ア)	保育所等緊急整備事業費補助	92万円 ①
(イ)	保育所緊急整備事業費補助(低年齢児特化型分園)	105万円 ①
コ	都市部保育所等賃借料支援事業費補助	5億8,212万円 ①
サ	保育緊急対策事業費補助	1億3,600万円 ③
(ア)	低年齢児受入対策緊急支援事業費補助	6,670万円 ③
(イ)	民間保育所健康管理体制強化事業費補助	1,442万円 ③
(ウ)	要保護児童保育所受入促進事業費補助	5,487万円 ③
シ	一部(新) 認可外保育施設巡回指導事業費	2,705万円 ③
ス	認可外保育施設フォローアップ事業費	1,257万円 ③

施策2
支援を必要とする子ども・家庭への取組

1 支援を必要とする子ども・家庭への取組

(3)地域における多様な子育て支援の充実	ア	地域子ども・子育て支援交付金事業費補助	131億5,038万円 ①	
	(ア)	放課後児童健全育成事業費補助	83億2,139万円 ①	
	(イ)	放課後児童健全育成事業費補助(投資)[再掲]	1億4,136万円 ①	
	(ウ)	新 放課後児童クラブ施設整備等支援事業費補助[再掲]	1,005万円 ①	
	(エ)	利用者支援事業費補助	1億7,673万円 ①	
	(オ)	新 利用者支援事業費補助(こども家庭センター型)	1億8,989万円 ①	
	(カ)	延長保育事業費補助	8億2,680万円 ①	
	(キ)	民間事業者参加促進等事業費補助	6,917万円 ①	
	(ク)	乳児家庭全戸訪問事業費補助	1億1,123万円 ①	
	(ケ)	養育支援訪問等事業費補助	1億6,905万円 ①	
	(コ)	地域子育て支援拠点事業費補助	7億9,189万円 ①	
	(サ)	一時預かり事業費補助	17億3,372万円 ①	
	(シ)	病児・病後児保育事業費補助	3億8,282万円 ①	
	(ス)	病児・病後児保育事業費補助(投資)	2,389万円 ①	
	(セ)	子育て援助活動支援事業費補助	8,592万円 ①	
	イ	病児保育支援事業費補助	350万円 ①	
	ウ	私立幼稚園等地域開放推進費補助	1億2,540万円 ①	
	(4)子どもの放課後などにおける育ちの場の提供	ア	放課後児童健全育成事業費補助[再掲]	83億2,139万円 ①
		イ	放課後児童健全育成事業費補助(投資)[再掲]	1億4,136万円 ①
		ウ	新 放課後児童クラブ施設整備等支援事業費補助[再掲]	1,005万円 ①
エ		放課後児童支援員認定資格研修事業費[再掲]	2,103万円 ①	
オ		放課後児童支援員等資質向上研修事業費[再掲]	1,783万円 ①	
(1)子どもの自立と機会の平等の推進	ア	児童手当負担金	183億2,721万円 ①	
	イ	児童扶養手当給付費	8億6,970万円 ⑥	
	ウ	新 児童扶養手当システム改修委託費	2,019万円 ⑥	
	エ	一部新 小児医療費助成事業費補助[再掲]	74億5,094万円 ①	
	オ	一部新 ひとり親家庭等医療費助成事業費補助[再掲]	19億973万円 ①	
	カ	母子父子寡婦福祉資金貸付金	3億4,000万円 ③	
	キ	母子家庭等就業支援事業費	1,520万円 ③	
	ク	ひとり親養育費確保支援事業費	600万円 ③	
	ケ	一部新 高等職業訓練促進給付金等支給費	8,488万円 ⑥	
	コ	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業費補助	271万円 ②	
	サ	ひとり親家庭住宅支援資金貸付事業費補助	3,840万円 ②	
	シ	新 ひとり親家庭放課後児童クラブ利用料支援事業費補助[再掲]	1億1,655万円 ①	
	ス	子どもの生活状況調査事業費[再掲]	1,973万円 ①	
	セ	子どもの貧困対策推進事業費	66万円 ①	
	ソ	子ども食堂支援事業費	1,516万円 ①	
	タ	SNS子どもの貧困対策相談事業費	1,722万円 ①	
	(2)児童虐待への総合的な対応	ア	一部新 虐待防止対策推進事業費	6,661万円 ③
		イ	児童虐待未然防止強化事業費	121万円 ③
		ウ	一時保護児童教育推進事業費	1,166万円 ③
		エ	児童相談所一時保護所心理職員雇用費	1,261万円 ③
オ		一部新 子ども権利相談室推進事業費	1,723万円 ①	
カ		一部新 子どもの権利擁護センター事業費	1,327万円 ③	
キ		SNS児童虐待防止相談事業費	7,435万円 ①	
ク		児童相談所業務支援システム費	295万円 ③	
ケ		新 新児童相談所ネットワークシステム整備費	800万円 ③	
コ		新たな子育て家庭支援基盤整備事業費補助	18億5,159万円 ①	
サ		一部新 大和綾瀬地域児童相談所移転工事費	5億9,829万円 ⑧	
シ		新 平塚児童相談所電話交換機更新費	693万円 ⑧	
ス	新 おおいそ学園公共下水道接続工事費	4,600万円 ⑧		
セ	新 おおいそ学園一般寮個室空調設備工事設計費	920万円 ⑧		
ソ	新 大和綾瀬地域児童相談所一時保護所改修工事設計費	930万円 ⑧		
(3)社会的養護のもとに育つ子どもたちへの支援	ア	社会的養育推進事業費補助	5,322万円 ③	
	イ	乳児院等多機能化推進事業費補助	721万円 ③	
	ウ	施設入所児童処遇費	7,199万円 ①	
	エ	新 施設入所児童処遇費(拡充分)	250万円 ①	
	オ	県立児童福祉施設入所者処遇費	2億1,140万円 ⑧	
	カ	児童福祉施設退所児童等身元保証人確保対策費補助	34万円 ③	
	キ	児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業費補助	376万円 ③	
	ク	あすなるサポートステーション事業費	3,114万円 ③	
	ケ	児童保護措置費[一部]	9,059万円 ③	
	コ	ケアリーバー支援事業費	954万円 ③	
	サ	新 ケアリーバー支援事業費補助	200万円 ③	
	シ	新 ケアリーバー等進学促進事業費	2,760万円 ③	
	ス	ケアラー支援事業費	4,988万円 ①	
	セ	ケアラー支援サービスモデル事業費	1,376万円 ①	
	ソ	新 高齢・成人ケアラーを支える普及・啓発事業費	659万円 ①	
タ	新 ヤングケアラー支援事業費	100万円 ①		
チ	未成年後見人報酬等補助	325万円 ③		
ツ	里親支援事業費	7,852万円 ③		

施策3 若者が心豊かに育ち自立できる社会づくり	1 豊かな心と健やかな体を育む体験的な学習などの推進	(1)青少年の多様な体験活動の促進と青少年支援・指導者の育成	ア イ ウ	青少年指導者養成費 青少年文化活動等推進事業費 藤野芸術の家運営費補助	921万円① 598万円① 8,266万円①		
		(2)いじめ・暴力行為対策の推進と不登校・ひきこもりへの対応	(1)ひきこもりなど自立に困難を抱える青少年への支援	ア イ ウ エ オ カ キ	青少年対策企画調整事業費 かながわ若者サポートステーション事業費 SNSひきこもり等相談事業費 ひきこもり相談窓口インターネット広告事業費 「ひきこもり×メタバース」社会参加支援事業費 ひきこもり支援推進事業費補助 青少年相談等支援事業費	439万円① 1,507万円⑦ 1,900万円① 220万円① 2,344万円① 28万円⑦ 4,327万円①	
			(2)いじめ・暴力行為対策の推進と不登校への対応	ア	私立高等学校等教育改革推進費補助(不登校生徒対策)	800万円①	
	3 健全育成を支える地域社会づくり	(1)青少年が健全に育つ環境の整備	ア	青少年保護育成条例等推進費	741万円①		
		施策4 希望に満ち信頼あふれる学校づくり	1 私立学校教育の振興	(1)私立学校への支援の充実	ア (ア) (イ) (ウ) (エ) イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス	私立学校経常費補助[一部][再掲] 私立学校経常費補助(一般補助) 私立高等学校等教育改革推進費補助[一部][再掲] 私立幼稚園等預かり保育推進費補助[再掲] 私立幼稚園等地域開放推進費補助[再掲] 私立幼稚園特別支援教育費補助 私立学校振興資金利子補給費 日本私立学校振興・共済事業団補助金 私立学校教職員退職金制度補助金 私立学校国際バカロレア認定取得支援事業費 私立幼稚園施設整備費等補助[再掲] 私立学校施設耐震診断調査費補助 私立専門学校修学支援負担金 私立幼稚園利用給付費負担金[再掲] 実費徴収補足給付事業費補助(私立幼稚園)[再掲] 私立幼稚園等子ども・子育て支援機能向上事業費補助[再掲] 私立学校防犯対策強化事業費補助[再掲]	429億6,174万円① 420億1,162万円① 5億5,940万円① 2億6,531万円① 1億2,540万円① 18億2,476万円① 631万円① 7億4,512万円① 9億7,307万円① 20万円① 2億938万円① 390万円① 16億5,442万円① 34億9,797万円① 2,681万円① 6,000万円① 1億円①
				2 公立高校と私立高校の連携強化	(1)公立高校と私立高校による協調事業の推進	ア	公私立学校協調事業費
	3 就学支援の推進			(1)高校生などへの就学支援の充実	ア イ ウ エ オ カ	高等学校等就学支援事業費 私立高等学校等生徒学費補助金等[再掲] 外国人高校生等学費補助金[再掲] 私立学校生徒学費緊急支援補助金 私立高校生等奨学給付金事業費 私立専門学校修学支援負担金[再掲]	98億699万円① 42億1,720万円① 1億7,705万円① 2,008万円① 6億766万円① 16億5,442万円①

高齢福祉施策の推進

施策5 高齢者が安心して、元気に、いきいきと暮らせる社会づくり	1 高齢者がいきいきと暮らせる保健福祉の充実	(1)医療・介護の連携など地域包括ケアシステムの深化・推進	ア イ ウ エ オ カ	地域包括ケア推進事業費 生活支援コーディネーター養成研修事業費 ケアラー支援事業費[再掲] ケアラー支援サービスモデル事業費[再掲] 高齢・成人ケアラーを支える普及・啓発事業費[再掲] ヤングケアラー支援事業費[再掲]	684万円① 736万円① 4,988万円① 1,376万円① 659万円① 100万円①
		(2)未病改善の取組の推進及び社会参画の推進	ア イ ウ エ	介護・認知症未病改善プログラム事業費 老人クラブ活動等推進事業費 介護予防評価事業費 高齢者社会参画・生きがいづくり支援事業費	850万円① 4,373万円⑤ 409万円① 706万円⑤
		(3)認知症とともに生きる社会づくり	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ	認知症施策調査・研究拠点整備事業費 認知症理解促進・普及啓発事業費 認知症疾患医療センター運営事業費 若年性認知症施策総合推進事業費 認知症施策普及・相談・支援事業費 オレンジパートナー活動支援事業費 認知症医療支援事業費[一部] 認知症医療支援事業費補助 認知症地域支援等研修事業費 認知症介護等研修事業費[一部] 認知症施策総合支援事業費 認知症未病改善推進事業費	1,239万円② 3,972万円① 3,942万円② 1,809万円① 1,099万円① 331万円① 655万円② 1,002万円⑦ 396万円① 1,634万円① 379万円① 107万円①

(4)介護保険サービス等の適切な提供とその基盤づくり	ア	介護給付費負担金	1,120億8,877万円①
	(ア)	介護給付費負担金	1,044億 832万円①
	(イ)	地域支援事業費交付金	58億6,800万円①
	(ウ)	低所得者保険料軽減県負担金	18億1,245万円①
	イ	介護認定調査員等研修事業費	86万円①
	ウ	一部(新) 介護職員処遇改善加算取得促進支援事業費	2,185万円②
	エ	低所得者利用負担対策事業費補助(社会福祉法人軽減)	2,333万円①
	オ	介護保険審査会運営費	53万円①
	カ	一部(新) 介護保険事業者指定・指導監査事業費	9,845万円⑧
	キ	喀痰吸引等研修支援事業費	535万円①
	ク	かながわ感動介護大賞表彰事業費	247万円①
	ケ	地域密着型サービス関係研修事業費	672万円①
	コ	介護施設等防災リーダー養成研修事業費	294万円①
	サ	介護施設等感染症対策職員育成研修事業費	254万円①
	シ	特別養護老人ホーム整備費補助	3億3,240万円③
	ス	地域密着型サービス施設等整備費補助	15億9,032万円①
	セ	高齢者施設改修費補助	1億6,336万円①
	ソ	施設開設準備支援事業費補助	17億2,495万円①
	タ	定期借地権利用整備促進事業費補助	4,955万円①
	チ	軽費老人ホームサービス提供費補助	6億6,877万円③
ツ	民間社会福祉施設運営費補助	1億1,551万円③	
テ	民間社会福祉施設整備借入償還金補助	3,602万円③	
ト	介護施設等感染拡大防止対策事業費補助	9億7,327万円①	
ナ	一部(新) 介護生産性向上推進事業費	7億2,555万円①	

(5)市町村が行う取組の支援	ア	高齢者保健福祉計画等推進事業費	294万円①
	イ	介護給付適正・適切化推進特別事業費国保連補助	675万円①
	ウ	サービス情報提供システム推進事業費負担金	369万円①
	エ	地域包括ケア推進事業費[再掲]	684万円①
	オ	生活支援コーディネーター養成研修事業費[再掲]	736万円①
	カ	介護・認知症未病改善プログラム事業費[再掲]	850万円①
キ	介護予防評価事業費[再掲]	409万円①	

施策6 地域における 保健・医療体制の整備	1 疾病対策の推進	(1)難治性疾患及び肝疾患対策などの推進	ア	小児特定疾病医療支援費	4億9,395万円③
-----------------------------	-----------	----------------------	---	-------------	------------

(2)被爆者等援護対策の推進	ア	被爆者医療支援事業費	12億3,527万円①
	イ	被爆者等健康診断事業費	2,007万円①
	ウ	被爆者のこども医療支援対策事業費	2,506万円①

施策7 保健・医療・福祉人材の育成・確保と働きやすい環境づくり	1 保健・医療・福祉人材の育成と確保・定着	(1)保健・医療・福祉人材の確保・定着対策の充実	ア	かながわ福祉人材センター事業費	2,735万円①
------------------------------------	-----------------------	--------------------------	---	-----------------	----------

(1)保健・医療・福祉人材の確保・定着対策の充実	イ	一部(新) かながわ福祉人材センター機能強化事業費	7,720万円①
	(ア)	かながわ福祉人材センター機能強化事業費	4,064万円①
	(イ)	キャリア支援専門員配置事業費	3,064万円①
	(ウ)	(新) 介護助手普及推進員配置事業費	592万円①
	ウ	介護人材確保促進事業費	5,534万円①
	(ア)	介護人材確保対策推進会議事業費	436万円①
	(イ)	優良介護サービス事業所「かながわ認証」運営事業費	1,834万円①
	(ウ)	ベスト介護セレクト20事業費	2,255万円①
	(エ)	介護フェア in かながわ事業費	1,008万円①
	エ	(新) 介護人材確保支援事業費補助	333万円①
	オ	介護事業経営マネジメント支援事業費	1,277万円①
	カ	現任職員キャリアアップ支援事業費補助	90万円①
	キ	外国籍県民介護職等定着支援事業費	967万円①
	ク	外国人介護福祉士候補者支援事業費	7,278万円①
	ケ	外国人技能実習生等資質向上研修事業費	1,200万円⑦
	コ	外国人留学生介護分野受入環境整備事業費	4,855万円①
	(ア)	留学生と受入介護施設等とのマッチング事業費	3,513万円①
	(イ)	受入介護施設等支援事業費補助	1,270万円①
	(ウ)	外国人介護福祉士養成施設日本語学習等支援事業費補助	72万円①
	サ	外国人介護人材受入施設環境整備事業費補助	819万円①
シ	介護未経験者参入促進事業費	6,384万円①	
ス	介護人材参入促進事業費補助	5,371万円①	
セ	介護職員子育て支援代替職員配置事業費補助	675万円①	
ソ	喀痰吸引等研修支援事業費[再掲]	535万円①	
タ	喀痰吸引等研修事業費	1,275万円①	

(2)保健・医療・福祉現職者教育の充実と専門性の向上	ア	介護職員研修受講促進支援事業費補助	1,509万円①
	イ	介護支援専門員研修事業費	8,971万円①
	ウ	一部(新) 介護職等資質向上研修事業費	1,928万円①
	(ア)	介護支援専門員多職種連携研修事業費	455万円①
	(イ)	介護人材認定研修推進事業費	1,180万円①
	(ウ)	新人介護職員等交流会事業費	187万円①
	(エ)	一部(新) メンター制度等導入支援事業費	105万円①
	エ	かながわ福祉人材センター事業費[再掲]	2,735万円①
	オ	重度重複障害者等支援看護師養成研修事業費	800万円②

共生社会実現への取組

施策8
神奈川県
当事者目線の障害
福祉推進条例
～ともに生きる
社会を目指して～
に基づく
取組の実践

1 すべての人の「いのち」を大切に
する取組

2 誰もがその人らしく暮らすことのできる
社会の実現

(1)障害福祉サービス等の提供に係る体制の整備

(2)障害福祉サービス等に
に従事する者の確保及び
質の向上

(3)地域で生活する障がい
児・者を支える社会環境
の整備

(4)中井やまゆり園等の
県立障害福祉施設にお
ける取組及び「県立障害
者支援施設の方向性ビ
ジョン」に沿った取組

ア	障害者虐待防止・権利擁護推進事業費	746万円 ①
イ	当事者目線の障がい福祉地域相談窓口設置等事業費	873万円 ①
ウ	意思決定支援普及・定着事業費	2,003万円 ①
エ	意思決定支援実践研修事業費補助	2,000万円 ①
ア	新 障害児等移行促進事業費	807万円 ①
イ	新 障害児等成人サービス移行支援モデル事業費	135万円 ①
ウ	医療的ケア児等コーディネーター等研修事業費	223万円 ②
エ	医療的ケア児支援センター運営事業費	1,610万円 ①
オ	医療的ケア児地域相談窓口設置事業費	1,168万円 ②
カ	かながわ地域生活移行推進人材養成事業費	3,343万円 ③
キ	地域生活移行チャレンジ事業費補助	2,150万円 ③
ク	地域生活移行推進民間提案事業費	3,045万円 ③
ケ	民間障害福祉施設整備費補助(国庫)	1億7,929万円 ③
コ	新 障害児者医療アクセス向上推進費	210万円 ③
サ	新 重症心身障害児者等支援体制検討事業費	150万円 ⑦
シ	障害福祉サービス費等負担金	452億6,515万円 ①
ス	障害者自立支援医療費負担金(更生医療)	29億3,441万円 ①
セ	障害者自立支援医療費負担金(精神通院医療)	59億2,588万円 ②
ソ	障害者療養介護医療費負担金	1億9,330万円 ①
タ	障害者補装具購入等負担金	4億8,960万円 ①
チ	相談支援給付費等負担金	6億 42万円 ①
ツ	障害児通所給付費負担金	150億5,798万円 ①
テ	新 市町村重度訪問介護等支援事業費補助	2億8,449万円 ⑧
ト	精神障害者地域包括ケアシステム構築推進事業費	576万円 ②
ナ	障害福祉施設消防用設備整備費補助	1,374万円 ③
ニ	民間社会福祉施設運営費補助	9,031万円 ⑧
ヌ	民間社会福祉施設整備借入償還金補助	3億 391万円 ③
ネ	介護職員処遇改善加算取得促進事業費	213万円 ③
ア	相談支援従事者等養成・確保推進事業費	768万円 ①
イ	相談支援体制拡充強化事業費	730万円 ①
ウ	喀痰吸引等研修事業費[再掲]	1,275万円 ①
エ	精神障害者ホームヘルパー研修事業費	395万円 ①
オ	重度重複障害者等支援看護師養成研修事業費[再掲]	800万円 ②
カ	障害者グループホーム運営支援事業費	130万円 ③
キ	障害者グループホーム等サポートセンター事業費	753万円 ③
ク	新 外国人介護人材受入促進事業費補助	450万円 ①
ケ	新 障害サービス事業所就労実態調査事業費	400万円 ①
コ	地域生活チャレンジサポート事業費	3,800万円 ①
ア	一部 新 重度障害者医療給付事業費補助	63億3,738万円 ①
イ	障害者地域生活支援事業費補助	22億 21万円 ①
ウ	障害者地域生活支援事業費	2億2,674万円 ⑧
エ	障害者地域生活支援関連事業費補助	5億8,200万円 ②
オ	在宅重度障害者等手当支給費	6億4,668万円 ①
カ	心身障害者扶養共済制度実施費	5億 556万円 ②
キ	医療型短期入所事業所開設促進事業費	666万円 ③
ク	障害児施設等措置費	10億2,941万円 ③
ケ	障害児入所給付費	4億 532万円 ③
コ	障害児等メディカルショートステイ運営事業費	3,317万円 ②
サ	新 障がい者ピアサポート研修事業費	1,983万円 ①
シ	新 聴覚障がい児支援中核機能事業費	3,747万円 ③
ス	新 精神障がい者地域移行支援強化事業費	2,140万円 ②
セ	新 児童虐待防止対策等総合支援事業費補助(障がい児分)	6,710万円 ①
ソ	重度障害者住宅設備改良費補助	2,143万円 ③
ア	障害当事者県立施設巡回事業費	320万円 ⑧
イ	当事者目線の施設環境整備事業費	312万円 ⑧
ウ	地域共生駅前進出モデル事業費	181万円 ⑧
エ	強度行動障害集中支援事業費	578万円 ⑧
オ	一部 新 当事者目線の障害福祉推進事業費	3,782万円 ⑧
カ	県立障害福祉施設利用者移行促進事業費補助	2,000万円 ⑧
キ	中井やまゆり園地域生活移行チャレンジ事業費	706万円 ⑧
ク	県西地域連携体制構築事業費(国庫)	400万円 ⑧
ケ	新 グループホーム設置運営調査委託事業費	680万円 ⑧
コ	新 地方独立行政法人移行準備費	2,657万円 ⑧
サ	新 県立障害福祉施設調査費	9,534万円 ⑧
シ	新 福祉を科学する検討会推進事業費	100万円 ⑧
ス	県立障害福祉施設維持運営費	26億3,816万円 ⑧

3 社会参加への支援、偏見や差別を排除する取組	(1)社会参加を推進する環境づくり	ア	神奈川県ライトセンター指定管理費	3億 597万円 ⑧	
		イ	神奈川県聴覚障害者福祉センター指定管理費	1億5,833万円 ⑧	
		ウ	盲ろう者支援事業費	936万円 ①	
		エ	一部(新) 聴覚障がい児等手話言語獲得支援事業費	1,333万円 ①	
		オ	手話言語普及推進事業費	1,309万円 ①	
		カ	みんなのバリアフリー街づくり推進事業費	693万円 ①	
		キ	(新) バリアフリー対応「見える化」事業費	100万円 ①	
		ク	(新) ソーラーカーポート設置促進事業費補助	1,800万円 ①	
		ケ	地域生活定着支援事業費	3,742万円 ①	
		コ	福祉バス運行事業費	3,698万円 ②	
		サ	軽度・中等度難聴児補聴器購入費補助	208万円 ③	
					失語症者向け意思疎通支援事業費
	(2)就労・雇用、経済的自立に対する支援	ア	未来型障がい者就労支援等事業費	154万円 ①	
		イ	農福連携マッチング等支援事業費	354万円 ⑦	
		ウ	工賃向上支援事業費	1,605万円 ①	
		エ	障害者就業・生活支援センター事業費	5,978万円 ①	
		オ	(新) 障害者就業・生活支援センター支援力強化事業費	5,889万円 ①	
4 ともに生きる社会実現に向けた県民総ぐるみの取組		ア	ともに生きる社会実現推進事業費	4,071万円 ①	
		イ	ともいきメタバース推進事業費	1,064万円 ⑧	
		ウ	共生社会推進加速化事業費	491万円 ⑧	
		エ	障害者理解促進事業費	646万円 ①	
		オ	(新) 当事者目線の障害福祉普及啓発事業費	500万円 ①	
		カ	(新) 共生の場の創出事業費	200万円 ①	
		キ	(新) メタバースを活用した居場所づくり事業費	658万円 ①	
		ク	(新) 都市型ユニバーサル農園推進事業費	973万円 ①	
		ケ	(新) ろう者に対する理解促進事業費	466万円 ①	
		コ	(新) 国際手話普及事業費	332万円 ①	
		サ	一部(新) 障がい者文化芸術普及支援事業費	2,672万円 ①	
		施策9 困難な問題を抱える女性等への支援及び人権・男女共同参画施策の推進	1 困難な問題を抱える女性等への支援	ア	一部(新) 困難女性つながりサポート事業費
イ	(新) 困難女性自立支援事業費			3,541万円 ①	
ウ	(新) 困難女性支援団体補助事業費			2,207万円 ①	
エ	(新) 女性向け無料低額宿泊所への転換支援事業費			207万円 ③	
オ	(新) 女性相談一時宿泊事業費			55万円 ①	
カ	困難な問題を抱える女性等支援事業費			5,560万円 ①	
キ	配偶者暴力被害者等支援事業費補助			3,196万円 ①	
ク	SNS・DV相談事業費			2,841万円 ①	
ケ	女性相談支援センター維持運営費			9,636万円 ①	
コ	女性自立支援施設運営費			1億6,241万円 ①	
サ	かながわ男女共同参画センター相談事業費			5,489万円 ①	
2 ジェンダー平等社会の実現	(1)ジェンダー平等社会の実現に向けた教育促進や意識啓発			ア	かながわ男女共同参画センター人材育成・情報発信事業費
		イ	一部(新) 男女共同参画実践事業費	532万円 ①	
		ウ	ライフキャリア教育かながわモデル発信事業費	82万円 ①	
3 人権政策の総合的な推進	(2)女性の活躍と参画の促進	ア	男女共同参画施策推進費	199万円 ①	
		(1)人権教育と人権啓発の推進	ア	人権啓発事業費	3,000万円 ②
			イ	人権啓発事業費	3,000万円 ②
(2)人権尊重の視点に立った行政の推進	ア	人権施策推進費	707万円 ①		
	イ	人権啓発推進費補助	299万円 ①		
	ウ	同和問題対策推進事業費補助	350万円 ①		

生活困窮者等への支援

施策10 生活困窮者支援の推進	1 孤独・孤立や生きづらさに悩む方への支援	(1)孤独・孤立に陥っている方への支援	ア	(新) 孤独・孤立対策推進事業費	215万円 ①	
			イ	(新) 住居不安定者実態調査事業費	934万円 ①	
			ウ	(新) 生活困窮者の就労訓練促進事業費	82万円 ③	
			エ	生活困窮者情報発信・啓発事業費	351万円 ⑧	
			オ	生活再建支援事業費	535万円 ⑥	
			カ	重層的支援体制構築支援事業費	6,930万円 ①	
			キ	民生委員児童委員活動推進事業費	2億7,499万円 ③	
			(2)深刻な課題を抱える子ども・若者への支援	ア	子ども食堂支援事業費〔再掲〕	1,516万円 ①
				イ	子どもの生活状況調査事業費〔再掲〕	1,973万円 ①
				ウ	かながわ若者サポートステーション事業費〔再掲〕	1,507万円 ⑦
				エ	SNSひきこもり等相談事業費〔再掲〕	1,900万円 ①
				オ	ひきこもり相談窓口インターネット広告事業費〔再掲〕	220万円 ①
カ	一部(新) 「ひきこもり×メタバース」社会参加支援事業費〔再掲〕	2,344万円 ①				
キ	ひきこもり支援推進事業費補助〔再掲〕	28万円 ⑦				

		ク	青少年相談等支援事業費[再掲]	4,327万円 ①
		ケ	演劇活用青少年支援事業費	52万円 ①
		コ	青少年行政総合推進費[一部]	17万円 ①
		サ	子ども・若者未来応援推進事業費	1,098万円 ①
		シ	児童福祉施設退所児童等身元保証人確保対策費補助[再掲]	34万円 ③
		ス	児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業費補助[再掲]	376万円 ③
		セ	あすなるサポートステーション事業費[再掲]	3,114万円 ③
		ソ	児童保護措置費[一部][再掲]	9,059万円 ③
		タ	ケアリーバー支援事業費[再掲]	954万円 ③
		チ	① ケアリーバー支援事業費補助[再掲]	200万円 ③
		ツ	① ケアリーバー等進学促進事業費[再掲]	2,760万円 ③
		テ	母子家庭等就業支援事業費[再掲]	1,520万円 ③
		ト	ひとり親養育費確保支援事業費[再掲]	600万円 ③
		ナ	ケアラー支援事業費[再掲]	4,988万円 ①
		ニ	ケアラー支援サービスモデル事業費[再掲]	1,376万円 ①
		ヌ	① 高齢・成人ケアラーを支える普及・啓発事業費[再掲]	659万円 ①
		ネ	① ヤングケアラー支援事業費[再掲]	100万円 ①
		ア	① SNS・性的マイノリティ相談事業費	1,333万円 ①
		ア	(3)社会的に弱い立場におかれている方への支援	
施策11 ともに生き支えあう地域社会づくり	1 ともに生き支えあう社会をめざす地域福祉の推進	アイウエ	(1)福祉コミュニティづくりを担う人材の育成・定着	民生委員児童委員活動推進事業費[再掲] 2億7,499万円 ③ かながわボランティアセンター事業費補助 206万円 ① 災害時福祉支援体制整備事業費 550万円 ① 地域包括ケア推進事業費[再掲] 684万円 ①
		アイウエオカ	(2)福祉サービスを安心して利用することができるしくみづくり	福祉サービス第三者評価推進事業費補助 1,034万円 ① 権利擁護推進事業費補助 1億4,913万円 ① 福祉サービス利用援助事業費補助 1億2,310万円 ② 福祉サービス苦情解決事業費補助 2,603万円 ① 権利擁護推進事業費(医療介護基金) 8,904万円 ① かながわ成年後見推進センター事業費 2,169万円 ① 地域生活定着支援事業費[再掲] 3,742万円 ① 未成年後見人報酬等補助 328万円 ③
		アイウエオカキク	(3)バリアフリーの街づくりと心のバリアフリーの推進	みんなのバリアフリー街づくり推進事業費[再掲] 693万円 ① ① バリアフリー対応「見える化」事業費[再掲] 100万円 ① ① ソーラーカーポート設置促進事業費補助[再掲] 1,800万円 ① 障害者理解促進事業費[再掲] 646万円 ① ① 障がい者文化芸術普及支援事業費[再掲] 2,672万円 ① ともに生きる社会実現推進事業費[再掲] 4,071万円 ① 未来型障がい者就労支援等事業費[再掲] 154万円 ① 農福連携マッチング等支援事業費[再掲] 354万円 ⑦
		アイウエオカキクケコサシスセソタチツ	(4)生活を支える福祉の充実	遺族等対策費 966万円 ① ① 外国籍県民等福祉給付金助成事業費補助 724万円 ① 中国残留邦人生活支援給付費 1,095万円 ⑥ 生活困窮者自立促進支援事業費 7,255万円 ⑥ ワンストップ支援推進事業費 941万円 ① 住居確保給付金支給費 600万円 ⑥ ① 生活困窮世帯の子どもの健全育成事業費 3,950万円 ⑥ 被保護者就労支援事業費 2,301万円 ⑥ 自立支援プログラム策定実施事業費 2,706万円 ⑥ 生活保護適正実施事業費 7,108万円 ⑥ 生活福祉資金貸付事業費等補助(国庫対象) 5,578万円 ① 生活保護扶助費 84億3,645万円 ③ ① 生活保護給付金 640万円 ⑥ ① AI語り部次世代継承推進事業費 213万円 ① ケアラー支援事業費[再掲] 4,988万円 ① ケアラー支援サービスモデル事業費[再掲] 1,376万円 ① ① 高齢・成人ケアラーを支える普及・啓発事業費[再掲] 659万円 ① ① ヤングケアラー支援事業費[再掲] 100万円 ①
		ア	(5)市町村における包括的な支援体制の整備	重層的支援体制構築支援事業費[再掲] 6,930万円 ①
2 生涯を通じた健康づくりの推進	(1)未病改善の取組の推進	アイ	介護・認知症未病改善プログラム事業費[再掲] 850万円 ① 高齢者社会参画・生きがいづくり支援事業費[一部][再掲] 345万円 ⑤	
		ア	(2)母子保健の推進	未熟児等養育医療費 9,956万円 ①

(注) ☆印は、内容の詳細を別冊「付属資料」の〈主な事業〉に掲載しています。

Ⅲ 令和6年度主要事業の概要

子ども・子育てへの支援

施策1 子ども・子育てを支える社会環境の整備

1 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援

- ア 恋カナ！プロジェクト事業費 4,179万円 ☆
結婚に向けた機運醸成を図るため、市町村等と連携したイベントを実施するとともに、結婚支援コンシェルジュを配置し、市町村や結婚を希望する方を支援する。
- イ マッチングアプリ利用促進連携事業費 462万円
婚活への最初の一步を支援するため、マッチングアプリと恋カナ！プロジェクトを連携させる取組を行うほか、マッチングアプリ事業者が実施する安全対策等を恋カナ！サイトで紹介する。
- ウ 結婚新生活支援事業推進費補助 10億8,810万円 ☆
結婚に対する経済的不安を軽減し、若い世代の結婚を後押しするため、結婚に伴う新生活に係る費用（新居の家賃、引越費用等）について、市町村と一体となって支援する。
- 一部(新)エ 小児医療費助成事業費補助 74億5,094万円 ☆
小児の医療費助成を実施する市町村に対して補助する。
※政令市への補助率格差を解消
- 一部(新)オ ひとり親家庭等医療費助成事業費補助 19億973万円 ☆
ひとり親家庭等医療費助成を実施する市町村に対して補助する。
※政令市・中核市への補助率格差を解消
- (新)カ 手ぶらで保育スタートアップ支援事業費補助 1億7,191万円 ☆
保護者及び保育士双方の負担を軽減するため、お昼寝用コット（簡易ベッド）、おむつ保管庫などの物品等を整備する保育所等を支援する市町村に対して補助する。
- キ 保育所等紙おむつ処分事業費補助 1億1,478万円 ☆
保護者及び保育士双方の負担を軽減するため、乳幼児の使用済み紙おむつを保護者が持ち帰ることなく、保育所等が処分するために必要な費用等を市町村に対して補助する。
- ク 保育所等感染症対策設備整備事業費補助 4,554万円 ☆
保護者及び保育士双方の負担を軽減するための紙おむつ保管用ごみ箱の購入や、感染症対策のための改修整備等を行う保育所等を支援する市町村に対して補助する。

- ケ インクルーシブ保育推進事業費 99万円
効果的な「インクルーシブ保育」実現のため、新たな取組を実践している有識者等の参加により、「インクルーシブ保育」のあり方を研究する。
- ⑧コ インクルーシブ保育推進地域モデル事業費 1,053万円
効果的な「インクルーシブ保育」実現のため、保育所等におけるインクルーシブ環境に係る課題解決等を進めるモデル事業を県内の保育所等で実施する。
- ⑧サ 私立幼稚園等子ども・子育て支援機能向上事業費補助 6,000万円
子育て世帯の孤独・孤立を防ぐため、未就学児を持つ保護者やその子どもが交流・相談できる場としての、地域開放等を行う私立幼稚園等に対して補助する。
- シ 放課後児童健全育成事業費補助（投資） 1億4,136万円 ☆
放課後児童クラブの施設整備等を実施する市町村に対して補助する。
- ⑧ス 放課後児童クラブ施設整備等支援事業費補助 1,005万円 ☆
放課後児童クラブの整備を促進するため、放課後児童健全育成事業費補助（投資）に加えて、補助基準額を超える市町村負担や事業者負担の一部を補助する。
- ⑧セ ひとり親家庭放課後児童クラブ利用料支援事業費補助 1億1,655万円
ひとり親家庭の負担を軽減するため、ひとり親家庭の子どもが利用する放課後児童クラブの利用料の減免（補助）を行う市町村に対して補助する。
- ⑧ソ 私立学校防犯対策強化事業費補助 1億円
私立学校に通う子どもたちの安全を確保するため、防犯対策として施設整備を行う私立学校に対して補助する。
- 一部⑧タ 私立高等学校等生徒学費補助金等 42億1,720万円 ☆
私立高校等に通う家庭の経済的負担を軽減するため、年収約700万円未満の世帯までの授業料及び住民税非課税世帯までの入学金の実質無償化を継続する。
多子世帯については、授業料実質無償化の対象を年収約910万円未満まで拡大するとともに、年齢要件を緩和する。
対象校種：高等学校、中等教育学校（後期課程）及び専修学校（高等課程）
- チ 外国人学校生徒等学費補助金 1億7,705万円 ☆
外国人学校に通う子ども達が安心して学ぶことができるよう、所得に応じて学費負担の軽減を図るために補助する。
- ツ 地域少子化対策重点推進交付金事業費（市町村事業） 2億1,275万円
結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成に取り組むとともに、結婚新生活の経済的支援などに取り組む市町村に対して補助する。
- ⑧テ 子どものオンライン学習支援モデル事業費 542万円
企業等に委託し、こどもの居場所におけるオンライン学習を行うことで企業価値がどのように高まるか等調査・研究を行うとともに、企業等への展開を図る。

- ⑨ト こどもの居場所づくり推進モデル創出事業費 682万円
企業等に委託し、長期休暇中に多様な居場所づくりを創出する取組を実施することで企業価値がどのように高まるか等調査・研究を行うとともに、企業等への展開を図る。

2 あたためコミュニティの創出

- ア 子育てパーソナルサポート事業費 930万円 ☆
コミュニケーションアプリ「LINE」を活用し、子育て支援情報を分かりやすくタイムリーに発信する。
- ⑩イ 子育てパーソナルサポート機能強化事業費 2,000万円 ☆
かながわ子育てパーソナルサポートへチャットボットを導入するとともに、子育て支援アプリとの連携を行う。
- ⑪ウ 市町村申請手続きデジタル化事業費補助 1億円 ☆
かながわ子育てパーソナルサポートを通して市町村の各種申請手続きが可能となるよう、市町村が行うシステム構築に対して補助する。
- エ 子どもの生活状況調査事業費 1,973万円
見えない貧困と言われている「子どもの貧困」の、県内における実態を把握し、計画改定や必要な施策立案につなげるため、無作為で抽出した県内の小学生・高校生及びその保護者に対し、生活状況調査を行う。
- ⑫オ 子ども・子育て充実市町村提案事業費補助 5,009万円
市町村毎の地域特性や人口規模等で様々に異なる課題を解決するため、市町村が提案する事業に対して補助する。

3 社会全体で、子ども・子育てを応援する機運醸成

- ア こどもまんなか機運醸成事業費 2,763万円
子どもに関する取組・政策を社会の真ん中に据える「こどもまんなか社会」を実現するため、主要公共交通機関のデジタル広告等を活用した広報・広告配信を行い、子育て支援に関する新たな取組等について、総合的な普及啓発及び機運醸成を行う。
- イ 子どもの意見聴取機会の創出事業費 300万円 ☆
県の施策に広く子ども・若者の意見を反映させるため、多様な子どもたちの声を聴く機会を創出する。
- ⑬ウ デジタル版子どもの意見聴取機会の創出事業費 1,254万円 ☆
こども基本法に基づき、県の施策に広く子どもの意見を反映するため、インターネット掲示板などの手法で多様な子どもたちの声を聴く機会を創出する。
- ⑭エ 子ども政策提案事業費 1,000万円 ☆
子どもたちの声を聴くことで集まった課題認識を基に、子ども目線による事業提案を受け、採択した事業を実施する。

4 幼児期の教育・保育の提供体制の確保・充実等

(1) 幼稚園教諭、保育士、保育教諭の確保・育成

- ア 地域限定保育士試験実施事業費 7,597万円
国家戦略特区の活用により、県独自の地域限定保育士試験を実施し、保育士を確保する。
- イ 保育エキスパート等養成事業費 7,343万円
一定の経験を積んだ保育士等を対象に、アレルギー、乳児保育など各分野のスペシャリスト（保育エキスパート）等を養成し、保育の質の向上と就業継続の支援を行う。
- ウ 子ども・子育て支援人材確保育成事業費 9,858万円
(ア) 保育士・保育所支援センター事業費 920万円
潜在保育士の復帰を促進するため、「かながわ保育士・保育所支援センター」において、保育の仕事の相談・紹介、就職支援セミナー等を実施する。
- (イ) 保育士等確保対策事業費 28万円
幼保連携型認定こども園に配置が必要となる保育教諭（幼稚園教諭免許と保育士資格の併有者）確保を図るため、幼稚園教諭免許を有していない者の資格取得等を支援する。
- (ウ) 子育て支援員研修事業費 1,600万円
地域型保育や一時預かりなどの子育て支援事業に従事する子育て支援員として、必要な知識や技能等を習得するための研修を実施する。
- (エ) 放課後児童支援員認定資格研修事業費 2,103万円
放課後児童クラブに従事する放課後児童支援員として必要な知識や技能等を習得するための研修を実施する。
- (オ) 放課後児童支援員等資質向上研修事業費 1,783万円
放課後児童支援員等の資質の向上を図るため、専門性の高い知識や技術を習得するための研修を実施する。
- エ 保育補助者雇上強化事業費補助 3,954万円
保育士の補助を行う保育補助者を雇い上げることにより、保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止を図る事業者を支援する市町村（政令市・中核市を除く）に対して補助する。
- オ 保育体制強化事業費補助 2億3,576万円
地域の子育て経験者など多様な人材を保育に係る周辺業務に活用することで、保育士の負担を軽減し、保育士の就業継続、離職防止を図る市町村に対して補助する。
- カ 養成施設就職促進事業費 252万円
保育士養成施設の学生の県内保育所等への就職を促進するため、養成施設の学生と若手保育士の交流会を開催する。

キ 短時間保育士雇上事業費補助 834万円
潜在保育士の復職を促進するため、配置基準外の短時間勤務の保育士の雇用を支援する市町村（政令市・中核市を除く）に対して補助する。

ク 幼稚園教員復帰等支援事業費 172万円
幼稚園の人材確保を支援するため、潜在幼稚園教員の復帰等を促進するための現場見学、就職相談会を実施する。

(2) ニーズに応じた幼児期の教育・保育の提供

ア 子ども・子育て支援給付費負担金 629億2,425万円
(ア) 施設型給付費負担金 580億6,820万円
市町村が実施する保育所等への給付費の一部を負担する。

(イ) 地域型保育給付費負担金 48億5,604万円
市町村が実施する小規模保育等への給付費の一部を負担する。

イ 私設保育施設等利用給付費負担金 8億6,756万円
少子化対策のため、私設保育施設（認可外保育施設）や幼稚園の預かり保育等の利用料を負担する。

ウ 医療的ケア児受入促進事業費 130万円
保育所等における医療的ケア児の受入れを促進するため、医療的ケア児を受け入れようとする施設及び市町村（政令市・中核市を除く）に対してアドバイザーを派遣する。

エ 保育環境向上等事業費補助 3,688万円
保育環境改善のため、保育所等において老朽化した備品等の更新や改修等を行う市町村（政令市・中核市を除く）に対し、その費用を補助する。

オ 私立幼稚園等預かり保育推進費補助 2億6,531万円
保育ニーズに対応するため、正規の教育時間前後や休業日に預かり保育を実施する幼稚園等に対して補助する。

カ 私立幼稚園利用給付費負担金 34億9,797万円
少子化対策のため、子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園（私学助成園）の利用料を負担する。

キ 実費徴収補足給付事業費補助（私立幼稚園） 2,681万円
低所得世帯等の園児を対象に、副食材料費の経費として市町村の給付費の一部を負担する。

ク 私立幼稚園施設整備費等補助 2億 938万円
幼児教育の質の向上に必要な遊具やICT環境等の整備、職員の業務負担の軽減及び認定こども園への移行に係る事務負担軽減の取組を行う幼稚園等に対して補助する。

ケ	安心こども交付金事業費	197万円
	(7) 保育所等緊急整備事業費補助	92万円
	待機児童対策を推進するため、保育所の緊急整備等を支援する市町村に対して補助する。	
	(4) 保育所緊急整備事業費補助（低年齢児特化型分園）	105万円
	低年齢児（0～2歳）の受入れに重点化した保育所分園の設置等を支援する市町村に対して補助する。	
コ	都市部保育所等賃借料支援事業費補助	5億8,212万円
	賃貸物件で運営される保育所等の安定的な運営のため、都市部など局地的に賃借料の実勢価格と公定価格が乖離している場合に、賃借料の一部を補助する。	
サ	保育緊急対策事業費補助	1億3,600万円
	(7) 低年齢児受入対策緊急支援事業費補助	6,670万円
	低年齢児(0歳)の受入れのため、年度途中に定員超過して受け入れるための保育士の年度当初からの雇用を支援する市町村（政令市・中核市を除く）に対して補助する。	
	(4) 民間保育所健康管理体制強化事業費補助	1,442万円
	保育所等における児童の健康管理体制を強化するため、保健師又は看護師を雇用する保育所等に対し、保育士を雇用した場合の経費との差額の一部を補助する。また、保育所等で受け入れた医療的ケア児を保育するために必要な、看護師等の人件費を補助する。	
	(7) 要保護児童保育所受入促進事業費補助	5,487万円
	虐待等を受けた要保護児童の保育所等の受入れを促進するため、要保護児童を受け入れた保育所等が保育士を雇用する経費の一部を補助する。	
一部	⑧ シ 認可外保育施設巡回指導事業費	2,705万円
	認可外保育施設に対して、重大事故の防止を目的とした研修や立入調査を実施するほか、睡眠中、食事中の重大事故が発生しやすい場面での巡回指導を外委委託により実施する。	
ス	認可外保育施設フォローアップ事業費	1,257万円
	無償化の対象となる認可外保育施設の質の確保・向上のため、指導監督基準を満たさない認可外保育施設に対し、継続的な助言指導を行う者を配置し、指導を強化する。	
(3)	地域における多様な子育て支援の充実	
ア	地域子ども・子育て支援交付金事業費補助	131億5,038万円
	(7) 放課後児童健全育成事業費補助	83億2,139万円
	保護者が仕事等により家庭にいない小学生に対し、放課後の居場所を提供する放課後児童クラブの運営と、放課後児童支援員等の処遇改善に取り組む市町村に対して補助する。	
	(4) 放課後児童健全育成事業費補助（投資）〔再掲〕	1億4,136万円 ☆

- ⑨ (ウ) 放課後児童クラブ施設整備等支援事業費補助 [再掲] 1,005万円 ☆
- (エ) 利用者支援事業費補助 1億7,673万円
子ども及びその保護者等、または妊娠している方がその選択に基づき、教育・保育施設や地域の子育て支援を円滑に利用できるよう、子育て中の親子の相談対応や、子育て世代包括支援センターによる支援等を実施する市町村に対して補助する。
- ⑩ (オ) 利用者支援事業費補助 (こども家庭センター型) 1億8,989万円
子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点の双方が常に情報共有を行い、双方の業務を協働で対応するなどの一体的な取組を強化するため、市町村が実施する事業に対して補助する。
- (カ) 延長保育事業費補助 8億2,680万円
通常の利用日、利用時間以外の日及び時間において、保育所や認定こども園等で延長保育を実施する市町村に対して補助する。
- (キ) 民間事業者参入促進等事業費補助 6,917万円
多様な教育・保育の提供を進めるため、地域における小学校就学前の子どもを対象にした施設等の利用支援などに取り組む市町村に対して補助する。
- (ク) 乳児家庭全戸訪問事業費補助 1億1,123万円
生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、育児不安への相談や育児情報の提供、乳児及び保護者の心身の様子及び養育環境を把握し支援を行う市町村に対して補助する。
- (ケ) 養育支援訪問等事業費補助 1億6,905万円
養育を支援することが特に必要な家庭や家事育児等に不安を抱える家庭に対し、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言や家事・育児の支援等を行うことにより、当該家庭の適切な養育を確保する事業を実施する市町村に対して補助する。
- (コ) 地域子育て支援拠点事業費補助 7億9,189万円
乳幼児とその保護者同士が交流する場の提供や、育児の相談等を行う子育て支援拠点の運営を行う市町村に対して補助する。
- (ク) 一時預かり事業費補助 17億3,372万円
緊急的な保育ニーズや保護者の通院・通学・リフレッシュのために就学前児童及び幼稚園児の一時預かり事業を実施する市町村に対して補助する。
- (シ) 病児・病後児保育事業費補助 3億8,282万円
病気や病後の児童を保護者が家庭で保育できない場合に、病院・保育所等の付設スペースで預かる事業を実施する市町村に対して補助する。
- (ス) 病児・病後児保育事業費補助 (投資) 2,389万円
病児・病後児保育事業を行うための施設の整備を支援する市町村に対して補助する。

(セ) 子育て援助活動支援事業費補助	8,592万円	
乳幼児や小学生等の子育て中の者を会員として、自宅で子どもを預かる会員と子どもを預けたい会員のマッチング事業を行う市町村に対して補助する。		
イ 病児保育支援事業費補助	350万円	
利用者の利便性を向上させるため、病児保育施設のICT化を進める市町村に対して補助する。		
ウ 私立幼稚園等地域開放推進費補助	1億2,540万円	
地域との連携を深めるため、保護者に対する教育相談事業や地域とのふれあい交流事業などを行う幼稚園等に対して補助する。		
(4) 子どもの放課後などにおける育ちの場の提供		
ア 放課後児童健全育成事業費補助〔再掲〕	83億2,139万円	
イ 放課後児童健全育成事業費補助（投資）〔再掲〕	1億4,136万円	☆
⑨ウ 放課後児童クラブ施設整備等支援事業費補助〔再掲〕	1,005万円	☆
エ 放課後児童支援員認定資格研修事業費〔再掲〕	2,103万円	
オ 放課後児童支援員等資質向上研修事業費〔再掲〕	1,783万円	

施策2 支援を必要とする子ども・家庭への取組

1 支援を必要とする子ども・家庭への取組

(1) 子どもの自立と機会の平等の推進

- ア 児童手当負担金 183億2,721万円
児童を養育している者に対して市町村が支給する児童手当の一部を負担する。
- イ 児童扶養手当給付費 8億6,970万円
離婚等により、父又は母と生計を同じくしていない児童について、手当を支給する。
- ①ウ 児童扶養手当システム改修委託費 2,019万円
「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」の公布に伴い、令和7年度末までに標準準拠システムへの移行が必要なため、児童扶養手当システムについて必要な改修を実施する。
- 一部①エ 小児医療費助成事業費補助〔再掲〕 74億5,094万円 ☆
- 一部①オ ひとり親家庭等医療費助成事業費補助〔再掲〕 19億 973万円 ☆
- カ 母子父子寡婦福祉資金貸付金 3億4,000万円
母子家庭等の配偶者のない者で現に児童を扶養している者や寡婦に対して修学資金等の各種資金の貸付けを行う。
- キ 母子家庭等就業支援事業費 1,520万円
経済的基盤が弱い母子家庭等を対象に、就業相談や就業支援講習会等の就業支援を行うとともに、養育費相談支援や公正証書作成補助等による養育費の支払の履行確保に向けた支援を行う。
- ク ひとり親養育費確保支援事業費 600万円
離婚によるひとり親の養育費確保を支援するため、養育費の取決めや不払い時における強制執行に係る弁護士費用及び養育費保証契約費用に対して補助する。
- 一部①ケ 高等職業訓練促進給付金等支給費 8,488万円
母子家庭等の経済的自立を促進するため、資格取得を目指し養成機関等で修学するひとり親に対し給付金を支給するとともに、人手不足が顕著な看護師、介護福祉士、保育士を確保するため、これらの資格取得を目指す場合、新たに県独自の給付金を上乘せする。
また、ひとり親の経済状況の実態等を把握するため、県内の児童扶養手当受給資格者を対象に調査を実施する。
- コ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業費補助 271万円
ひとり親家庭の親の資格取得を支援し、自立の促進を図るため、養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し資金を貸し付ける県社会福祉協議会に対して補助する。

サ ひとり親家庭住宅支援資金貸付事業費補助 3,840万円
自立に向け意欲的に取り組むひとり親の就業・自立を促進するため、住宅の借
り上げに必要な資金を貸し付ける県社会福祉協議会に対して補助する。

⑨シ ひとり親家庭放課後児童クラブ利用料支援事業費補助〔再掲〕 1億1,655万円

ス 子どもの生活状況調査事業費〔再掲〕 1,973万円

セ 子どもの貧困対策推進事業費 66万円
子どもの居場所などの活動を支援したい企業や団体と、支援を受けたい活動団体
をつなぐ交流会や、子どもの支援に関する専門的な研修等をオンラインで行う。

ソ 子ども食堂支援事業費 1,516万円
子ども食堂の活動継続を支援するため、子ども食堂運営者に協力金を支給する。
また、子ども食堂同士のネットワーク化の推進、寄附受入や物流の調整を行うため
のマッチングコーディネーターの配置、子ども食堂の情報発信力強化のための調査
等を実施する。

タ SNS子どもの貧困対策相談事業費 1,722万円
生活困窮のおそれの高い、ひとり親家庭が相談しやすい環境を整備するため、
SNSを活用した相談を実施する。

(2) 児童虐待への総合的な対応

一部⑩ア 虐待防止対策推進事業費 6,661万円
児童虐待に適切に対応し、再発防止を図るため、保護者に対するカウンセリン
グの実施や、医療機関による虐待事案への専門支援体制を整備する。
また、児童虐待の早期発見のため、歯科医師等の人材の育成や対応ツールを作
成し、歯科医師等の児童虐待への知見向上を目指す。

イ 児童虐待未然防止強化事業費 121万円
虐待の未然防止の一層の推進を図るため、しつけの体罰禁止を、幼児から大人
まで幅広く普及・啓発する。

ウ 一時保護児童教育推進事業費 1,166万円
虐待等の理由により児童相談所の一時保護所に保護されている子どもに対する
教育面でのケアを図るため、教員経験者等を配置し学習支援を行う。

エ 児童相談所一時保護所心理職員雇用費 1,261万円
被虐待児童等の心理的ケアの充実を図るため、児童相談所の一時保護所に非常
勤の心理担当職員を配置する。

- 一部 ⑨ オ 子ども人権相談室推進事業費 1,723万円
 子どもの権利擁護を推進するため、子ども自身からの人権相談、施設職員の専門研修、啓発事業等を実施する。
 また、児童相談所の業務の質の向上を図るため、第三者評価を実施し、児童相談所の取組を客観的に評価する。
- 一部 ⑩ カ 子どもの権利擁護センター事業費 1,327万円
 児童養護施設等に入所中の子どもたちが自ら意見表明できる機会を確保するため、意見表明等支援員の派遣や関係機関との連携等、子どもの意見表明を支援するためのセンターを新たに設置する。
- キ SNS児童虐待防止相談事業費 7,435万円
 児童虐待について、県民が相談しやすい環境を整備するため、SNSを活用した相談を実施する。
- ク 児童相談所業務支援システム費 295万円
 引き続き増加傾向にある児童虐待相談に対し、迅速かつ適切に対応できるよう、相談情報のデータベースシステムを運用することにより、情報の共有化を徹底し事故防止を図る。
- ⑪ ケ 新児童相談所ネットワークシステム整備費 800万円
 虐待相談件数の急増、複雑・困難化など、児童相談所を取り巻く環境の変化に対応するため、AI機能の導入など、本県の児童相談所に最適な新たなシステムの仕様を検討する。
- コ 新たな子育て家庭支援基盤整備事業費補助 18億5,159万円
 妊産婦、子育て世帯、子どもへの包括的な支援体制を構築するため、市町村が実施する事業に対して補助する。
- 一部 ⑫ サ 大和綾瀬地域児童相談所移転工事費 5億9,829万円
 令和3年4月に中央児童相談所（所在地：藤沢市）と同一建物内に設置した大和綾瀬地域児童相談所について、令和7年度に所管区域内の綾瀬市の市有地「旧綾瀬市保健医療センター」へ移転するため、改修工事を実施する。
- ⑬ シ 平塚児童相談所電話交換機更新費 693万円
 平塚児童相談所に設置する耐用年数を経過した電話交換機の更新を行う。
- ⑭ ス おおいそ学園公共下水道接続工事費 4,600万円
 おおいそ学園周辺に整備される下水道の供用開始に合わせて、老朽化している浄化槽からの切替工事及び浄化槽の撤去工事を行う。
- ⑮ セ おおいそ学園一般寮個室空調設備工事設計費 920万円
 入所児童の教育環境の改善に向けて、おおいそ学園一般寮の個室に空調設備を設置するため、実施設計を行う。

- ⑨ ソ 大和綾瀬地域児童相談所一時保護所改修工事設計費 930万円
入所児童の生活環境の改善に向けて、大和綾瀬地域児童相談所一時保護所を改修するため、基本設計を行う。

(3) 社会的養護のもとに育つ子どもたちへの支援

- ア 社会的養育推進事業費補助 5,322万円
社会的養護の小規模化・地域分散化等の推進のため、県が策定した「社会的養育推進計画」に沿った取組を行う児童福祉施設に対して補助する。

- イ 乳児院等多機能化推進事業費補助 721万円
乳児院等における医療機関との連携強化を図るため、医療機関等連絡調整員を配置し、継続的な服薬管理や健康管理が必要な児童等の円滑な受入れを促進する民間乳児院等に対して、その活動費用の一部を補助する。

- ウ 施設入所児童処遇費 7,199万円
民間児童福祉施設等の入所児童の処遇の向上を図るため、児童の生活費、教育費等を支払う。

- ⑩ エ 施設入所児童処遇費（拡充分） 250万円
被虐待児童等を受け入れる県所管の自立援助ホームの支援体制の充実を図るため、措置費における被虐待児受入加算費の適用期間（1年間）が終了している児童等の入居を受ける自立援助ホームに対して補助する。

- オ 県立児童福祉施設入所者処遇費 2億1,140万円
児童虐待等により、県立児童福祉施設に入所した児童を養育するための費用を支出する。

- カ 児童福祉施設退所児童等身元保証人確保対策費補助 34万円 ☆
身元保証を必要とする子どもに対し、その子どもが入所していた施設長などが身元保証人となる場合に、保証契約を締結する際の経費を補助する。

- キ 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業費補助 376万円 ☆
児童養護施設の退所者等の円滑な自立を支援するため実施する、家賃相当額や生活費など自立支援資金の貸付を行う民間法人に対して補助する。

- ク あすなろサポートステーション事業費 3,114万円 ☆
児童養護施設や里親等から退所、自立する児童の自立支援を促進する。
また、一旦は自立したケアリーバーが離職等により再スタートが必要になった場合に、専門職員が継続支援計画の作成等を通し自立を支援する。

- ケ 児童保護措置費〔一部〕 9,059万円 ☆
里親等への委託や、児童養護施設等への施設入所措置を受けている者が、退所する前に一定期間ひとり暮らしによる社会生活を体験するための費用の一部を支弁する。

- コ ケアラー支援事業費 954万円 ☆
ケアラー（児童養護施設等を退所した者）への相談機能として、県央地域に一時的な滞在場所及び相談室を設置、運営する。
- ⑨ サ ケアラー支援事業費補助 200万円 ☆
一旦は自立したケアラーが離職等により再スタートが必要になった場合に、一人ひとりに応じた次なる自立に導いた出身施設等に対して補助する。
- ⑩ シ ケアラー等進学促進事業費 2,760万円 ☆
ケアラー等への支援を行うため、大学等への初年度納付金及び入学後1年間の生活費用を給付する。
- ス ケアラー支援事業費 4,988万円 ☆
各種支援制度のはざまに陥りがちなケアラー（家族などを介護する人）を支援するため、相談窓口や支援専門員を設置するほか、ケアラーの居場所づくりを行う団体等に対して補助する。
- セ ケアラー支援サービスモデル事業費 1,376万円 ☆
若者ケアラー（概ね18から24歳）等の家事負担を軽減するため、家事援助サービスを提供する事業を行う市町村に対して補助する。
- ⑪ ソ 高齢・成人ケアラーを支える普及・啓発事業費 659万円 ☆
ケアラー自身や周囲の認知を高めるため、バスの車内広告等をはじめとした広報や出前研修を実施する。
- ⑫ タ ヤングケアラー支援事業費 100万円 ☆
「かながわヤングケアラー等相談LINE」等、ヤングケアラーに対する相談体制の広報用カードを印刷し、県域の小・中・高等学校に配布することで、事業の認知度の向上を図り、相談件数の増加を目指す。
- チ 未成年後見人報酬等補助 325万円
児童虐待の防止等を図り、子どもの権利利益を擁護するため、児童相談所長が認める子どもについて、家庭裁判所が選任した未成年後見人の報酬等に対して補助する。
- ツ 里親支援事業費 7,852万円
里親制度を推進するため、里親への相談支援、里親制度の普及啓発、委託調整の取組を強化する。また、「里親センター」を運営し、養子縁組に関する相談体制を整備する。

施策3 若者が心豊かに育ち自立できる社会づくり

1 豊かな心と健やかな体を育む体験的な学習などの推進

(1) 青少年の多様な体験活動の促進と青少年支援・指導者の育成

- ア 青少年指導者養成費 921万円
青少年の多様な体験学習の促進を図るため、青少年支援・指導者を育成するための研修を実施するとともに、その活動を支援する。
- イ 青少年文化活動等推進事業費 598万円
青少年への科学体験活動の普及・啓発を推進するとともに、県内の様々な企業や研究機関との連携を深め、先端科学を直接体験できる機会を創出する。また、ひきこもり・不登校などの問題に取り組む団体等と協働し、演劇等のコミュニケーションスキルを活用したワークショップを行う。
- ウ 藤野芸術の家運営費補助 8,266万円
民間貸付を行っている宿泊型体験活動施設である藤野芸術の家の管理運営に必要な経費を補助する。

2 いじめ・暴力行為対策の推進と不登校・ひきこもりへの対応

(1) ひきこもりなど自立に困難を抱える青少年への支援

- ア 青少年対策企画調整事業費 439万円
青少年育成功労者等の表彰を行うほか、子ども・若者施策審議会部会や県いじめ再調査会を運営する。
- イ かながわ若者サポートステーション事業費 1,507万円
ニート等の働くことに悩みを抱える若者の職業的自立を支援するため、地域若者サポートステーションを運営する。
- ウ SNSひきこもり等相談事業費 1,900万円
子ども・若者、ひきこもり当事者及び家族等が抱える悩みについて、より身近に相談できる環境を提供するため、SNSを活用した相談を実施する。
- エ ひきこもり相談窓口インターネット広告事業費 220万円
ひきこもり当事者とその家族等を、ひきこもり相談・支援窓口やメタバースを活用した支援に関する情報を掲載したホームページに誘導するため、インターネット広告を行う。
- 一部[○]新 オ 「ひきこもり×メタバース」社会参加支援事業費 2,344万円 ☆
ひきこもり等の当事者の社会参加を支援するため、メタバース上でイベントを実施するとともに、新たに交流の場や相談窓口を設置する。
- カ ひきこもり支援推進事業費補助 28万円
市町村におけるひきこもり支援事業の立ち上げを支援するため、市町村が負担する費用について補助を行う。

- キ 青少年相談等支援事業費 4,327万円
ひきこもり等の当事者や家族を支援するため、ひきこもり地域支援センターで電話相談等を行うほか、医師・弁護士等の多職種支援チームにより、伴走支援を行う市町村等を支援する。また、NPOが実施する相談業務に対して補助を行う。

(2) いじめ・暴力行為対策の推進と不登校への対応

- ア 私立高等学校等教育改革推進費補助（不登校生徒対策） 800万円
不登校生徒の進路確保のため、不登校生徒の受入体制を整備している私立高等学校に対して補助する。

3 健全育成を支える地域社会づくり

(1) 青少年が健全に育つ環境の整備

- ア 青少年保護育成条例等推進費 741万円
青少年の健全な育成を図るため、県、保護者、県民及び事業者が一体となって青少年を取り巻く社会環境の健全化を促進するとともに、青少年の喫煙・飲酒を防止する社会環境を整備するため、関係業界と協働して周知・啓発を行う。

施策4 希望に満ち信頼あふれる学校づくり

1 私立学校教育の振興

(1) 私立学校への支援の充実

ア 私立学校経常費補助〔一部〕〔再掲〕 429億6,174万円 ☆
教育条件の維持向上、修学上の経済的負担の軽減及び学校経営の健全性の向上を図るため、私立学校の経常的な経費及び特色ある教育に対して補助する。

(イ) 私立学校経常費補助（一般補助）	420億1,162万円
校種別補助額	
高 等 学 校	224億7,223万円
小・中・中等教育学校	98億5,809万円
幼 稚 園	72億1,712万円
専修・各種学校	18億6,728万円
特別支援学校	5億9,688万円

なお、特別補助は、以下のとおり。

(イ) 私立高等学校等教育改革推進費補助〔一部〕〔再掲〕 5億5,940万円
教育の質の向上を図る私立学校に対して補助する。また、不登校生徒の進路確保のため、不登校生徒の受入体制を整備している私立高等学校に対して補助する。

(ウ) 私立幼稚園等預かり保育推進費補助〔再掲〕 2億6,531万円

(エ) 私立幼稚園等地域開放推進費補助〔再掲〕 1億2,540万円

イ 私立幼稚園特別支援教育費補助 18億2,476万円
障がいのある幼児とともに学び、ともに育つ保育を推進するため、障がいのある幼児を受け入れる幼稚園に対して補助する。

ウ 私立学校振興資金利子補給費 631万円
教育環境の充実、災害時の安全確保を図るため、私立学校が行う施設整備に対し、その資金の融資あっせんを行うとともに、利子の一部を補給する。

エ 日本私立学校振興・共済事業団補助金 7億4,512万円
私立学校教職員の福利厚生を支援するため、私学共済の長期給付の一部を補助する。

オ 私立学校教職員退職金制度補助金 9億7,307万円
私立学校教職員の福利厚生を支援するため、退職手当金給付財源の一部を補助する。

カ 私立学校国際バカロレア認定取得支援事業費 20万円
グローバル人材の育成に向けて国際バカロレア認定取得に関心のある私立学校に対し、既に認定を取得している学校の公開授業や職員同士の意見交換会等を開催し、認定取得を支援する。

- キ 私立幼稚園施設整備費等補助〔再掲〕 2億 938万円
- ク 私立学校施設耐震診断調査費補助 390万円
 児童生徒等の安全確保及び災害時の避難施設としての公共性の観点から、耐震診断調査を実施する私立学校に対して補助する。
- ケ 私立専門学校修学支援負担金 16億5,442万円
 少子化対策のため、低所得世帯であっても社会で自立し活躍できる人材を育成する大学等において修学できるよう、高等教育の修学支援（授業料等減免）を着実に実施する。
- コ 私立幼稚園利用給付費負担金〔再掲〕 34億9,797万円
- サ 実費徴収補足給付事業費補助（私立幼稚園）〔再掲〕 2,681万円
- ⑨シ 私立幼稚園等子ども・子育て支援機能向上事業費補助〔再掲〕 6,000万円
- ⑨ス 私立学校防犯対策強化事業費補助〔再掲〕 1億円

2 公立高校と私立高校の連携強化

(1) 公立高校と私立高校による協調事業の推進

- ア 公立学校協調事業費 330万円
 公立高等学校による協調事業の一環として、神奈川の高校の魅力をアピールするとともに、中学生の志望校決定の一助とするため、「神奈川の高校展」を開催する。また、高校生等の就労観の育成と職業意識の向上を図る「仕事のまなび場」事業を実施する。

3 就学支援の推進

(1) 高校生などへの就学支援の充実

- ア 高等学校等就学支援事業費 98億 699万円 ☆
 家庭の状況にかかわらず、すべての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、私立高校生等に対して就学支援金を支給することにより、世帯の教育費負担を軽減する。
 対象校種 高等学校、中等教育学校（後期課程）及び専修学校（高等課程）等

- 一部⑨イ 私立高等学校等生徒学費補助金等〔再掲〕 42億1,720万円 ☆
- ウ 外国人学校生徒等学費補助金〔再掲〕 1億7,705万円 ☆
- エ 私立学校生徒学費緊急支援補助金 2,008万円
 保護者の失職や倒産等により家計が急変した児童・生徒への影響を軽減するため、授業料を軽減した私立中学校等に対して補助する。
 対象校種 中学校、小学校及び中等教育学校（前期課程）

オ	私立高校生等奨学給付金事業費 生活保護世帯、住民税所得割非課税世帯の私立高校生等に対し、授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学給付金を支給する。	6億 766万円
カ	私立専門学校修学支援負担金〔再掲〕	16億5,442万円

高齢福祉施策の推進

施策5 高齢者が安心して、元気に、いきいきと暮らせる社会づくり

1 高齢者がいきいきと暮らせる保健福祉の充実

(1) 医療・介護の連携など地域包括ケアシステムの深化・推進

- ア 地域包括ケア推進事業費 684万円
地域包括ケアシステムを推進するため、県及び各保健福祉圏域の広域的な地域ケア会議の開催、在宅医療・介護連携推進事業研修会の開催、市町村への専門職派遣、地域包括支援センターの職員等に対する研修等を行う。
- イ 生活支援コーディネーター養成研修事業費 736万円
地域における生活支援等サービスの提供体制の整備に向けた取組を推進するため、生活支援コーディネーター等に対し研修を行うとともに、助言等を行うアドバイザーを派遣する。
- ウ ケアラー支援事業費〔再掲〕 4,988万円 ☆
- エ ケアラー支援サービスモデル事業費〔再掲〕 1,376万円 ☆
- ⑨オ 高齢・成人ケアラーを支える普及・啓発事業費〔再掲〕 659万円 ☆
- ⑨カ ヤングケアラー支援事業費〔再掲〕 100万円 ☆

(2) 未病改善の取組の推進及び社会参画の推進

- ア 介護・認知症未病改善プログラム事業費 850万円
認知症未病改善のため、県民がコグニサイズ（※）に取り組みやすい環境づくりとして、フォローアップ講師を派遣するなど、コグニサイズの更なる普及・定着を推進する。
※ コグニサイズとは、国立長寿医療研究センターが開発した、認知機能の維持・向上が期待される運動で、コグニション（認知）とエクササイズ（運動）を組み合わせた造語
- イ 老人クラブ活動等推進事業費 4,373万円
高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、各種活動を総合的に実施する組織である老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動経費に対して補助する。
- ウ 介護予防評価事業費 409万円
市町村が「介護予防事業」を効果的に実施するため、事業効果の調査分析、評価を行うとともに、研修や高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施における「通いの場」への伴走支援事業を行う。
- エ 高齢者社会参画・生きがいづくり支援事業費 706万円
身近な地域における健康づくり活動や支え合い活動を支援するため、老人クラブの運営支援を行うほか、各市町村老人クラブ連合会との連携により、高齢者の健康課題等について学ぶ「ゆめクラブ大学」を開催し、高齢者が地域支援事業の担い手になるために必要な知識を習得する研修を行う。

(3) 認知症とともに生きる社会づくり

- ⑨ ア 認知症施策調査・研究拠点整備事業費 1,239万円
認知症に関する最新の医療情報の共有や地域における医療水準の向上を図るため、認知症未病改善研究センター（仮称）を新たに設置するとともに、認知症疾患医療センターを増設し、認知症施策推進体制を拡充する。
- ⑨ イ 認知症理解促進・普及啓発事業費 3,972万円
認知症に対する偏見を払拭し、正しい理解を促進するため、認知症未病改善キャラバンによるPRのほか、「（仮称）かながわオレンジデー」を開催する。また、認知症疾患医療センターに認知症ピアサポート推進員、若年性認知症訪問支援員を配置する。
- ウ 認知症疾患医療センター運営事業費 3,942万円
地域における認知症疾患の医療・介護連携の強化を図るため、認知症疾患医療センターを設置し、専門的医療の提供や日常生活を継続するための支援を充実させる。
- エ 若年性認知症施策総合推進事業費 1,809万円
若年性認知症の人やその家族等からの相談及び支援に携わるコーディネーターを配置し、若年性認知症の特性に配慮した就労継続支援、社会参加支援及び活躍できる居場所づくり支援等を行う。
- オ 認知症施策普及・相談・支援事業費 1,099万円
認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症コールセンターにおいて介護の悩みなど認知症全般に関する相談を行うほか、かながわオレンジ大使（認知症本人大使）による認知症理解のための「本人発信」を支援する。
- カ オレンジパートナー活動支援事業費 331万円
オレンジパートナーをはじめとする認知症サポーターのステップアップ研修修了者の活動支援を行うとともに、市町村におけるチームオレンジ構築支援のための伴走支援や会議、研修を行う。
- 一部⑨ キ 認知症医療支援事業費 [一部] 655万円
認知症の早期診断・早期対応の体制を強化するため、かかりつけ医等を対象として、認知症対応力の向上を図るための研修を行うとともに、かかりつけ医への助言や支援を行う認知症サポート医の養成及びフォローアップ研修を行う。また、新たに病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修及び病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修について、外部委託する。
- ク 認知症医療支援事業費補助 1,002万円
認知症の早期診断・早期対応の体制を強化するため、指定都市が実施する認知症サポート医養成や病院勤務の医療機関従事者向けなどの研修事業に対して補助する。

- ケ 認知症地域支援等研修事業費 396万円
 認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援するため、市町村が設置する認知症初期集中支援チームのチーム員の養成やフォローアップ、認知症地域支援推進員の研修を行う。
- コ 認知症介護等研修事業費 [一部] 1,634万円
 認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図るため、認知症介護の専門職員を養成する研修を行う。
- サ 認知症施策総合支援事業費 379万円
 認知症施策を推進するため、認知症施策推進協議会等の運営を行う。
- シ 認知症未病改善推進事業費 107万円
 高等学校と連携したVR体験会を実施し、若年層の認知症未病改善の理解を深め、主体的な取組につなげる。

(4) 介護保険サービス等の適切な提供とその基盤づくり

- ア 介護給付費負担金 1,120億8,877万円
 (ア) 介護給付費負担金 1,044億 832万円
 介護保険制度の円滑な運営を図るため、介護保険法に基づき市町村が行う介護給付及び予防給付に要する経費の一部を負担する。
- (イ) 地域支援事業費交付金 58億6,800万円
 高齢者が社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるようにするため、地域支援事業に要する経費の一部を市町村に対して交付する。
- (ウ) 低所得者保険料軽減県負担金 18億1,245万円
 介護保険制度の円滑な運営を図るため、介護保険法に基づき市町村が行う低所得者の介護保険料の軽減措置について、減額した額の一部を負担する。
- イ 介護認定調査員等研修事業費 86万円
 要介護認定を公平、公正かつ適正に行うため、認定調査員等に対して認定業務にかかる研修を行う。
- 一部(新)ウ 介護職員処遇改善加算取得促進支援事業費 2,185万円
 介護職員の処遇改善を図るため、介護職員処遇改善加算等の取得に必要な介護サービス事業所等の就業規則の作成・変更について、専門家による相談等を行う。また、新たに介護職員処遇改善加算等の処遇改善計画書及び実績報告書の届出業務を外部委託する。
- エ 低所得者利用負担対策事業費補助 (社会福祉法人軽減) 2,333万円
 介護サービスの利用促進を図るため、生計困難な低所得者が社会福祉法人によるサービスを利用する際の負担軽減措置を行う市町村に対して補助する。

オ 介護保険審査会運営費 53万円
市町村の行政処分不服のある被保険者の法的地位を迅速かつ簡便な手続で保障するため、介護保険審査会の設置運営を行う。

一部(新)カ 介護保険事業者指定・指導監査事業費 9,845万円
介護保険サービスを適切に提供するため、介護サービス事業者への適切な指定・指導を行うとともに、介護現場においてハラスメントが発生した場合の対応等に関する管理者向けの研修や法律相談を行うほか、平塚保健福祉事務所における運営指導の適正な実施頻度を確保するため、同事務所が行う運営指導の一部を新たに業務委託する。また、介護サービス利用者のサービス選択を支援するため、事業者のサービスに関する情報を公表する。

キ 喀痰吸引等研修支援事業費 535万円
たんの吸引等の医療的ケアを行う介護職員を養成する際の課題に対応するため、実地研修先の確保や喀痰吸引等研修の受講を支援する。

ク かながわ感動介護大賞表彰事業費 247万円
介護の仕事の魅力や素晴らしさを広く伝えるため、施設や在宅における介護に関するエピソードを募り、「かながわ感動介護大賞」として表彰を行う。

ケ 地域密着型サービス関係研修事業費 672万円
地域密着型サービス事業所において適切なサービスを提供するため、管理者等に対する研修を行う。

コ 介護施設等防災リーダー養成研修事業費 294万円
台風や地震等による大規模災害の発生に備え、介護施設等の災害対策を強化するため、施設等職員を対象として災害対策に関する研修を実施する。

サ 介護施設等感染症対策職員育成研修事業費 254万円
介護施設等における感染症対策を強化するため、施設等職員を対象として感染症対策に関する知識や技術に関する研修を実施する。

シ 特別養護老人ホーム整備費補助 3億3,240万円
在宅での介護が困難な重度の要介護高齢者の介護を行う特別養護老人ホーム等の整備費用に対して補助する。

ス 地域密着型サービス施設等整備費補助 15億9,032万円
市町村で提供される地域密着型サービスの強化等を図るため、小規模多機能型居宅介護事業所や認知症高齢者グループホーム等の整備、介護職員の宿舎の整備等に加え、土地等所有者と介護施設を開設しようとする法人等のマッチングに係る経費に対して補助する。

セ 高齢者施設改修費補助 1億6,336万円
入所者の自立した生活の支援を図るため、既存施設のユニット化やプライバシー保護のための改修、介護医療院等への転換整備費用等に対して補助する。

- ソ 施設開設準備支援事業費補助 17億2,495万円
介護施設等の開設時から安定した質の高いサービスを提供できる体制の整備を支援するため、施設の開設準備費用等に対して補助する。
- タ 定期借地権利用整備促進事業費補助 4,955万円
特別養護老人ホーム等の整備促進を図るため、定期借地権を設定した用地確保に要する費用に対して補助する。
- チ 軽費老人ホームサービス提供費補助 6億6,877万円
身寄りのない高齢者や家族との同居が困難な高齢者を対象とする軽費老人ホームに入居する低所得者の負担を軽減するため、サービスの提供に要する費用に対して補助する。
- ツ 民間社会福祉施設運営費補助 1億1,551万円
自主的で柔軟な施設運営を促進するため、養護老人ホーム及び軽費老人ホームの職員雇用費のうち、県の配置基準を超えて雇用する直接処遇職員経費について、利用者数等に応じて補助する。
- テ 民間社会福祉施設整備借入償還金補助 3,602万円
民間老人福祉施設の整備を促進するため、(独)福祉医療機構又は県社会福祉協議会から、施設及び設備整備に係る融資を受けた社会福祉法人の償還元金及び利子の支払いに対して補助する。
- ト 介護施設等感染拡大防止対策事業費補助 9億7,327万円
新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、介護施設等で感染者が発生した場合に備えた環境整備に要する費用を補助する。
- 一部(新)ナ 介護生産性向上推進事業費 7億2,555万円
介護施設等への介護ロボットやICTの導入に対して補助するとともに、新たに介護現場の革新、生産性向上に向けた取組方針の検討等を行う会議を開催するほか、ワンストップ型の相談窓口を設置する。

(5) 市町村が行う取組の支援

- ア 高齢者保健福祉計画等推進事業費 294万円
市町村の保険者機能の強化を支援するため、国から提供されたデータを活用した地域分析や、市町村職員を対象とした研修の実施、自立支援・重度化防止に向けた市町村の個別支援を行う。
- イ 介護給付適正・適切化推進特別事業費国保連補助 675万円
市町村の介護給付適正化の取組を支援するため、医療給付情報と介護給付情報との突合等に要する費用に対して補助する。また、市町村が十分に保険者機能を発揮できるよう支援するため、課題に応じたアドバイザーを派遣する。
- ウ サービス情報提供システム推進事業費負担金 369万円
介護サービス事業者等の情報を提供するため、市町村等と共同で運営する「介護情報サービスかながわ」の運用経費の一部を負担する。

エ	地域包括ケア推進事業費 [再掲]	684万円
オ	生活支援コーディネーター養成研修事業費 [再掲]	736万円
カ	介護・認知症未病改善プログラム事業費 [再掲]	850万円
キ	介護予防評価事業費 [再掲]	409万円

施策6 地域における保健・医療体制の整備

1 疾病対策の推進

(1) 難治性疾患及び肝疾患対策などの推進

- ア 小児特定疾病医療援護費 4億9,395万円
治療が長期にわたり、医療費が高額となる小児慢性特定疾病について、医療費の一部を支給する。また、長期療養している小児慢性特定疾病児童等の成長とともに自立を支援するため、関連情報の発信を行うほか、児童が成人後も適切な医療を受けられるよう、移行期医療支援コーディネーターを配置し、成人期への移行期医療の支援体制を整備する。

(2) 被爆者等援護対策の推進

- ア 被爆者医療援護事業費 12億3,527万円
原子爆弾被爆者の援護のため、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき医療特別手当及び健康管理手当等、各種手当の支給を行う。
- イ 被爆者等健康診断事業費 2,007万円
原子爆弾被爆者等の健康の維持増進を図るため、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき健康診断を実施する。
- ウ 被爆者のこども医療援護対策事業費 2,506万円
原子爆弾被爆者の子どもの健康保持及び増進を図るため、健康診断を実施するとともに、特定の疾患に罹患した際に医療費を給付する。

施策7 保健・医療・福祉人材の育成・確保と働きやすい環境づくり

1 保健・医療・福祉人材の育成と確保・定着

(1) 保健・医療・福祉人材の確保・定着対策の充実

- ア かながわ福祉人材センター事業費 2,735万円
福祉・介護人材の確保・定着を図るため、かながわ福祉人材センターにおいて、福祉人材の就労相談・あっせん、求職者への研修及び調査研究事業等を行う。
- 一部 ⑨イ かながわ福祉人材センター機能強化事業費 7,720万円
(ア) かながわ福祉人材センター機能強化事業費 4,064万円
地域密着型の就職支援を展開するとともに、福祉の仕事の魅力普及啓発事業等を行う。また、福祉・介護の仕事に関心のある者に対し、職場体験の機会を提供するほか、離職した介護福祉士等の復職を支援するための研修等を行う。
- (イ) キャリア支援専門員配置事業費 3,064万円
かながわ福祉人材センターにキャリア支援専門員を配置し、専門性を活かしたきめ細かな就労マッチング支援や労働環境の整備等に向けた助言等を行う。
- ⑨(ウ) 介護助手普及推進員配置事業費 592万円
更なる介護人材を確保するため、介護職の周辺業務を行う介護助手のマッチング及び事業所に助手活用の支援を行う介護助手普及推進員を新たに配置する。
- ウ 介護人材確保促進事業費 5,534万円
(ア) 介護人材確保対策推進会議事業費 436万円
介護事業者や関係団体等による会議を設置し、介護人材確保に係る共通課題の解決の方策や効果的な取組等について検討する。
- (イ) 優良介護サービス事業所「かながわ認証」運営事業費 1,834万円
サービスの質や人材育成、処遇改善等について一定の水準を満たしている介護サービス事業所等を認証する制度を運営する。
- (ウ) ベスト介護セレクト20事業費 2,255万円
要介護度の維持・改善、人材育成、処遇改善に成果をあげた介護サービス事業所を表彰し、更なる取組へのインセンティブとなる奨励金（1事業所100万円）を交付する。
- (エ) 介護フェア in かながわ事業費 1,008万円
11月11日の介護の日関連イベントとして、「介護フェアinかながわ」を開催し、広く県民に対して介護の仕事の魅力を発信する。
- ⑨エ 介護人材確保支援事業費補助 333万円
小規模事業者単独では難しい介護人材確保の取組を推進するため、優良介護サービス事業所「かながわ認証」の認証を受けた事業所が中心となり、地域の小規模事業者を含む介護施設等が共同して実施する介護人材確保の取組に対して補助する。

- オ 介護事業経営マネジメント支援事業費 1,277万円
介護サービス事業所の経営改善を図るため、経営者層を対象としたセミナーの開催や経営コンサルタント等のアドバイザーを派遣する。
- カ 現任職員キャリアアップ支援事業費補助 90万円
個々の介護事業所が抱える個別課題の解決を支援するため、市町村が行う介護事業所の現任職員を対象とした講師派遣型研修事業に要する経費を補助する。
- キ 外国籍県民介護職等定着支援事業費 967万円
福祉・介護分野での外国籍県民の雇用拡大・定着を図るため、外国籍県民対象のビジネスマナー研修の開催や就労支援を行うとともに、外国籍県民介護職員等のための相談窓口を設置する。
- ク 外国人介護福祉士候補者支援事業費 7,278万円
経済連携協定（EPA）に基づき、インドネシア、フィリピン及びベトナムから入国した外国人介護福祉士候補者を支援するため、国家試験対策講座を実施するとともに、施設が行う学習支援に対して補助する。
- ケ 外国人技能実習生等資質向上研修事業費 1,200万円
介護業務に就労することを希望する外国人技能実習生や特定技能外国人を支援するため、介護技能向上に関する研修を行う。また、横浜市及び川崎市が行う同研修事業に対して補助する。
- コ 外国人留学生介護分野受入環境整備事業費 4,855万円
(ア) 留学生と受入介護施設等とのマッチング事業費 3,513万円
日本語学校や介護福祉士養成施設等に関する情報収集と外国人留学生等候補者への情報提供を行い、現地での合同説明会を開催するなどのマッチング事業を行う。また、横浜市が行うマッチング事業に対して補助する。
- (イ) 受入介護施設等支援事業費補助 1,270万円
介護施設が受け入れた留学生に給付する学費や住居費等に対する補助を拡充させる。
- (ウ) 外国人介護福祉士養成施設日本語学習等支援事業費補助 72万円
介護福祉士養成施設等が行う外国人留学生への日本語学習支援事業に係る費用に対して補助する。
- サ 外国人介護人材受入施設環境整備事業費補助 819万円
介護施設等における外国人介護人材の受入れを支援するため、施設等が行うコミュニケーションを促進する取組等に対して補助する。
- シ 介護未経験者参入促進事業費 6,384万円
福祉・介護人材の参入を促進するため、介護分野での就労未経験者を対象に、初任者研修等を行うとともに、介護サービス事業所等への就労までを一貫して支援する。また、介護現場における多様な働き方の導入に向けたモデル事業を実施する。

- ス 介護人材参入促進事業費補助 5,371万円
 福祉・介護人材の参入を促進するため、政令市が行う介護分野での就労未経験者を対象にした初任者研修等の実施から介護サービス事業所等への就労までを一貫して支援する事業に対して補助する。また、市町村が行う介護の仕事の普及啓発事業に対して補助する。
- セ 介護職員子育て支援代替職員配置事業費補助 675万円
 福祉・介護人材の定着を促進するため、出産・育児休業から復職した介護職員が短時間勤務する際における介護サービス事業者の代替職員雇用に対して補助する。
- ソ 喀痰吸引等研修支援事業費〔再掲〕 535万円
- タ 喀痰吸引等研修事業費 1,275万円
 たんの吸引等の医療的ケアを行う介護職員等を養成するため、喀痰吸引等研修や、研修の指導に当たる看護職員に対する伝達講習を行う。
- (2) 保健・医療・福祉現任者教育の充実と専門性の向上
- ア 介護職員研修受講促進支援事業費補助 1,509万円
 介護職員の資質向上を図るため、介護サービス事業者が、初任者研修、実務者研修等を受講する職員の研修受講料を負担した場合、その費用に対して補助する。また、研修受講中の代替職員に係る費用に対して補助する。
- イ 介護支援専門員研修事業費 8,971万円
 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを実践するため、主任介護支援専門員を養成する。また、主任介護支援専門員等が必要な知識の修得等のための研修を行う。
- 一部(新)ウ 介護職等資質向上研修事業費 1,928万円
 (ア) 介護支援専門員多職種連携研修事業費 455万円
 地域包括ケアシステムの中核を担う介護支援専門員の資質向上を図るため、多職種連携に関する研修を行う。
- (イ) 介護人材認定研修推進事業費 1,180万円
 介護福祉士資格取得後2年程度の実務経験を持つ介護職員を対象に、現場で中心的な役割を担うチームリーダー養成研修を行う。
- (ウ) 新人介護職員等交流会事業費 187万円
 入職時及び入職3年目などの節目となるタイミングで、所属する施設・事業所外の同様の立場にある若手介護職員との交流会を行う。
- 一部(新)エ メンター制度等導入支援事業費 105万円
 新採用職員が介護職員として安心してスタートを切り、円滑に職務に取り組むことができるよう、新採用職員指導者(メンター又はエルダー)制度の導入を推進するほか、新採用職員指導者の候補者に対する新人指導研修等を実施する。

- エ かながわ福祉人材センター事業費 [再掲] 2,735万円
- オ 重度重複障害者等支援看護師養成研修事業費 800万円
障がい者の医療環境等の充実を図るため、重症心身障害児者施設等の看護師に対する専門研修を行うとともに、看護学生や看護師等を対象に、福祉現場における看護に関する普及啓発研修を行う。

共生社会実現への取組

施策8 神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例

～ともに生きる社会を目指して～ に基づく取組の実践

1 すべての人の「いのち」を大切にする取組

- ア 障害者虐待防止・権利擁護推進事業費 746万円
障がい者虐待の未然防止や迅速な対応を図るため、障がい者虐待防止の拠点となる障害者権利擁護センターにおいて相談を受けるとともに、虐待防止の研修を行う。
- イ 当事者目線の障がい福祉地域相談窓口設置等事業費 873万円
障がいを理由とする差別の解消に向け、相談体制を強化し、地域で相談できる体制を構築するとともに、差別に関する紛争解決のため、あっせん等の調整を行う第三者機関を設置・運営する。
- ウ 意思決定支援普及・定着事業費 2,003万円
意思決定支援の普及・定着のため、県内障害者支援施設に対して専門家の派遣、障害福祉サービス等の従事者に対する研修、事例検討会の開催などを実施する。
- エ 意思決定支援実践研修事業費補助 2,000万円
意思決定支援の知見を習得してもらうため、県が障害者支援施設職員に対して「県版ガイドライン」に基づく意思決定支援を実践する研修を行い、研修参加に伴う代替職員の確保に係る経費を補助する。

2 誰もがその人らしく暮らすことのできる社会の実現

(1) 障害福祉サービス等の提供に係る体制の整備

- ①ア 障害児等移行促進事業費 807万円 ☆
障害児入所施設に入所する障がい児及び過齢児（18歳以上の入所者）の成人サービス移行を促進するため、本人の希望と体験利用先をマッチングする会議を設置するほか、体験利用を受け入れた成人施設等に対して補助する。
- ①イ 障害児等成人サービス移行支援モデル事業費 135万円 ☆
障害児入所施設に入所する障がい児及び過齢児（18歳以上の入所者）の成人サービス移行を促進するため、本人の意思決定を支援するアドバイザーを派遣する。
- ウ 医療的ケア児等コーディネーター等研修事業費 223万円
医療的ケアを要する障がい児等の支援人材を養成するため、支援の総合調整を担うコーディネーターの養成研修を実施する。
- エ 医療的ケア児支援センター運営事業費 1,610万円
かながわ医療的ケア児支援センターを県庁内に設置し、医療的ケア児の保護者等からの様々な悩み、相談に対応する。また、相談は、来所、電話、メール及びSNSで受け付ける。

- オ 医療的ケア児地域相談窓口設置事業費 1,168万円
地域における医療的ケア児等からの相談に対応するため、かながわ医療的ケア児支援センターの地域相談窓口（ブランチ）を設置する。
- カ かながわ地域生活移行推進人材養成事業費 3,343万円
地域生活移行を担う人材を育成するため、入所者の地域生活移行を推進する県独自の研修を実施するとともに、人材を配置した障害者支援施設に対して配置加算を行う。
- キ 地域生活移行チャレンジ事業費補助 2,150万円
民間障害者支援施設からの地域生活移行を促進するため、県独自の研修を受講した専門人材と連携して地域生活移行に取り組むグループホーム等に対して補助を行う。
- ク 地域生活移行推進民間提案事業費 3,045万円
障害者支援施設などの地域生活移行の取組を促進するため、障がい保健福祉圏域を単位に、民間法人から地域生活移行に資する提案事業を募集し、採択した提案事業に補助する。
- ケ 民間障害福祉施設整備費補助（国庫） 1億7,929万円 ☆
障がい者の地域生活の維持、継続を図るとともに、地域生活移行を促進するため、重度障がい者にも対応する日中活動の場及び住まいの場を新たに整備する事業者に対して補助する。
- ①コ 障害児者医療アクセス向上推進費 210万円 ☆
知的障がい児・者の医療課題について、医療、福祉両面から対策を検討するための会議を設置する。
- ①サ 重症心身障害児者等支援体制検討事業費 150万円 ☆
湘南東部圏域における重症心身障がい児・者や医療的ケアを必要とする方の地域生活を支えるため、支援体制に関する課題や対策を検討するための会議を設置する。
- シ 障害福祉サービス費等負担金 452億6,515万円
障がい者の日常生活又は社会生活を支援するため、居宅介護や生活介護等の介護給付、共同生活援助や就労継続支援等の訓練等給付に要する経費の一部を市町村に対して負担する。
- ス 障害者自立支援医療費負担金（更生医療） 29億3,441万円
身体障がい者の障がいを軽減して日常生活能力、職業能力を回復、改善するために必要な医療費等の支給に要する経費の一部を市町村に対して負担する。
- セ 障害者自立支援医療費負担金（精神通院医療） 59億2,588万円
精神障がい者の自立と社会参加を促進するため、外来医療に係る医療費の一部を負担する。

- ソ 障害者療養介護医療費負担金 1億9,330万円
障がい者の医療費負担額の軽減を図るため、病院等に入院する常時介護を要する障がい者が、医学的管理のもとで介護等のサービスの提供を受ける療養介護のうち、医療に係る支給に要する経費の一部を市町村に対して負担する。
- タ 障害者補装具購入等負担金 4億8,960万円
障がい児・者が日常生活を送る上で必要な移動等の確保を図るため、身体障がい児・者の失われた機能を補完又は代替するための補装具の購入等に要する経費の一部を市町村に対して負担する。
- チ 相談支援給付費等負担金 6億 42万円
障がい者の抱える課題の解決や適切なサービス利用を図るため、サービス等利用計画作成経費や、施設入所者の地域生活への移行、定着を支援する地域移行支援及び地域定着支援に要する経費の一部を市町村に対して負担する。
- ツ 障害児通所給付費負担金 150億5,798万円
通所による障がい児の日常生活における基本動作の習得や、集団生活への適応訓練等を支援するため、児童発達支援や、放課後等に生活能力の向上訓練等を行う放課後等デイサービス及び障害児相談支援等に要する経費の一部を市町村に対して負担する。
- ㊦テ 市町村重度訪問介護等支援事業費補助 2億8,449万円 ☆
重度訪問介護等の訪問系サービスに係る介護給付費等において、国庫負担基準額を超えて負担している市町村（政令市、中核市及び人口30万人以上の市町村を除く）に対して補助する。
- ト 精神障害者地域包括ケアシステム構築推進事業費 576万円
精神障がい者の地域生活を支えるため、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進する。
- ナ 障害福祉施設消防用設備整備費補助 1,374万円
グループホーム等において火災が発生した際の甚大な被害を防ぐため、共同生活援助事業所のスプリンクラー整備に対して補助する。
- ニ 民間社会福祉施設運営費補助 9,031万円
民間社会福祉施設の自主的で柔軟な施設運営を促進するため、県都市町村において支給決定された利用者が政令市・中核市所管の施設を利用した場合、当該施設の県域利用者分について補助を行う。
- ヌ 民間社会福祉施設整備借入償還金補助 3億 391万円
民間障害福祉施設の整備を促進するため、（独）福祉医療機構又は県社会福祉協議会から、施設及び設備整備に係る融資を受けた社会福祉法人の償還元金及び利子の支払いに対して補助する。

- ネ 介護職員処遇改善加算取得促進事業費 213万円
福祉・介護職員の処遇改善を図るため、福祉・介護職員処遇改善加算等の取得に必要な障害福祉サービス事業所等の就業規則の作成・変更について、専門家による相談等を行う。
- (2) 障害福祉サービス等に従事する者の確保及び質の向上
- ア 相談支援従事者等養成・確保推進事業費 768万円
相談支援従事者等の更なる質の向上や専門性の強化を図るため、相談支援専門員を対象とした専門的な研修を実施する。
- イ 相談支援体制拡充強化事業費 730万円
障がい者の地域生活移行等を支える相談支援事業所の開設を促進するため、開設を検討する法人等を対象としたセミナーを開催するとともに、相談支援事業所の開設に向けたサポートデスクを開設し、フォローアップを行う。
- ウ 喀痰吸引等研修事業費〔再掲〕 1,275万円
- エ 精神障害者ホームヘルパー研修事業費 395万円
精神障がい者の居宅介護支援に従事する人材の確保及びサービスの質の向上を図るため、精神障がい者の特性を理解したホームヘルパー等の養成研修及び現任者研修を行う。
- オ 重度重複障害者等支援看護師養成研修事業費〔再掲〕 800万円
- カ 障害者グループホーム運営支援事業費 130万円
障がい者の地域生活の受け皿となるグループホームの運営を支援するため、支援ノウハウ等のコンサルテーションを実施する。
- キ 障害者グループホーム等サポートセンター事業費 753万円
グループホーム等の設置、利用を促進するため、研修業務等を実施する。
- ⑨ク 外国人介護人材受入促進事業費補助 450万円
障害福祉施設等における外国人介護人材の受入れを支援するため、受入環境の整備に係る取組や人材確保に係る取組に対して補助する。
- ⑨ケ 障害サービス事業所就労実態調査事業費 400万円 ☆
障害福祉分野における人材確保策を的確に講じるため、障害福祉事業所における就労実態や人材育成の取組を調査する。
- コ 地域生活チャレンジサポート事業費 3,800万円
地域生活移行にチャレンジする障がい者を支える福祉人材を確保するため、大学生や他業種からの転職希望者、元気高齢者等に対して、それぞれの属性に応じた各種支援を行う。

(3) 地域で生活する障がい児・者を支える社会環境の整備

- 一部(新)ア 重度障害者医療給付事業費補助 63億3,738万円 ☆
重度障がい者の健康の保持及び増進を図るため、重度障がい者の医療費助成を行う市町村に対して補助する。
※政令市・中核市への補助率格差を解消
- イ 障害者地域生活支援事業費補助 22億 21万円
障がい者の自立した生活を支援するため、ストーマ装具等を支給する日常生活用具給付等事業や外出時に付き添い等の支援を行う移動支援事業等の地域生活支援事業を実施する市町村に対して補助する。
- ウ 障害者地域生活支援事業費 2億2,674万円
障がい者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援するため、広域的、専門的な観点から、発達障害者支援センターの運営などの専門性の高い相談支援事業等を行う。
- エ 障害者地域生活支援関連事業費補助 5億8,200万円 ☆
地域の実情に応じた障がい者の地域生活支援を推進するため、グループホームの設置及び運営に対する補助や地域活動支援センターの事業に対する補助など、市町村（政令市を除く）が実施する障がい者の地域生活支援関連事業に対して補助する。
- オ 在宅重度障害者等手当支給費 6億4,668万円
障がい者の福祉増進を図るため、在宅の重度障がい者等に対し手当を支給する。
- カ 心身障害者扶養共済制度実施費 5億 556万円
障がい者の将来に対する経済的な不安を軽減するため、保護者が死亡した場合などに、障がい者に年金を支給する。
- キ 医療型短期入所事業所開設促進事業費 666万円
重症心身障がい児・者等が在宅で安心した生活を送ることができるよう支援するため、医療機関や介護老人保健施設による医療型短期入所事業所の開設支援を行う。
- ク 障害児施設等措置費 10億2,941万円
障がい児施設に入所する障がい児の処遇向上と施設経営の健全化を図るため、入所児の養育及び医療に要する経費を負担する。
- ケ 障害児入所給付費 4億 532万円
障がい児の福祉増進を図るため、指定障害児入所施設等に入所する児童に係る医療費等費用の一部を補助する。
- コ 障害児等メディカルショートステイ運営事業費 3,317万円
在宅の重症心身障がい児・者とその家族が安心して生活できるよう支援するため、不足しているレスパイト等の受け皿を医療機関への委託により確保する。

- ⑨サ 障がい者ピアサポート研修事業費 1,983万円 ☆
 自らの障がいや疾病の経験を活かし、他の障がい者の支援を行うピアサポーター及びピアサポーターの活用方法等を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等を養成する。
- ⑨シ 聴覚障がい児支援中核機能事業費 3,747万円 ☆
 聴覚障がい児が早期から必要な支援を受けられるよう、相談窓口を設置するとともに、家族教室の開催や聴覚障がい児が通う関係施設への巡回支援等を実施する。
- ⑨ス 精神障がい者地域移行支援強化事業費 2,140万円 ☆
 精神科病院に入院している精神障がい者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、関係機関による連携の下、精神障がい当事者の力を活用した退院意欲の喚起や地域移行支援等のサービス利用者を積極的に増やす取組を行う。
- ⑨セ 児童虐待防止対策等総合支援事業費補助（障がい児分） 6,710万円
 障がい児支援の一層の普及促進を図るため、発達障がい等の知識を有する専門員の保育所等の巡回支援や医療的ケア児等コーディネーターの配置など、地域における障がい児支援の質の向上及び医療的ケア児等へ切れ目ない支援を行う市町村に対して補助する。
- ソ 重度障害者住宅設備改良費補助 2,143万円
 在宅の重度障がい者の生活環境整備の促進を図るため、重度障がい者等が行う浴室等住宅設備の改造及び天井走行式移動リフト等の設置に要する経費を助成する市町村（政令市・中核市を除く）に対して補助する。
- (4) 中井やまゆり園等の県立障害福祉施設における取組及び「県立障害者支援施設の方向性ビジョン」に沿った取組
- ア 障害当事者県立施設巡回事業費 320万円 ☆
 当事者の意見を施設運営に反映するため、障がい当事者が施設を巡回し、職員や利用者との意見交換を行う。
- イ 当事者目線の施設環境整備事業費 312万円 ☆
 中井やまゆり園において、クッションフロア化・段差解消を行い、利用者一人ひとりに応じた施設改修を行う。
- ウ 地域共生駅前進出モデル事業費 181万円 ☆
 中井やまゆり園において、施設外に利用者の活動拠点を設置し、地域でのボランティア活動を行うなど、日中活動の充実を図る。
- エ 強度行動障害集中支援事業費 578万円 ☆
 利用者一人ひとりの障がい特性等を踏まえた集中的な支援を行い、グループホーム等への円滑な移行を図る。

- 一部①オ 当事者目線の障害福祉推進事業費 3,782万円 ☆
 利用者の地域生活移行に向けて、民間事業所が日中活動支援、重度訪問介護等のサービスを提供した際にかかる費用等を補助する。
- カ 県立障害福祉施設利用者移行促進事業費補助 2,000万円 ☆
 利用者のグループホームへの地域生活移行を支援するため、受入体制の整備に係る人件費及び環境整備費等をグループホームに対して補助する。
- キ 中井やまゆり園地域生活移行チャレンジ事業費 706万円 ☆
 重度障がい者の地域生活移行を推進するとともに、地域生活移行する際の課題を洗い出すため、中井やまゆり園の利用者と職員が地域と交流しながら宿泊体験を行う。
- ク 県西地域連携体制構築事業費（国庫） 400万円 ☆
 中井やまゆり園及び県西地域等の施設・事業所利用者が、日中活動を通じて地域貢献をするため、中井やまゆり園と小規模な社会福祉法人等が、「法人間連携プラットフォーム」を形成し、利用者の社会参加に向けた取組を実施する。
- ②ケ グループホーム設置運営調査委託事業費 680万円 ☆
 施設利用者の受入れが可能となるグループホームの設置検討をするため、他の都道府県や民間の先進的なグループホームの運営事例を調査する。
- ③コ 地方独立行政法人移行準備費 2,657万円 ☆
 中井やまゆり園を運営する地方独立行政法人の設立に向けて、地方独立行政法人の財務会計・人事給与制度の構築、情報システムの導入、資産の整理等の検討・準備を行う。
- ④サ 県立障害福祉施設調査費 9,534万円 ☆
 地方独立行政法人への移行、民間法人への移譲や再整備を行うため、アスベスト調査及び土地の測量を行う。
- ⑤シ 福祉を科学する検討会推進事業費 100万円 ☆
 先進的な取組を行う事業所等の実態調査により、好事例の収集等を行うとともに、検討会を実施して効果的な支援体制や研究体制等を検討し、報告書にまとめ、今後の県立施設の役割である福祉科学研究へとつなげる。
- ス 県立障害福祉施設維持運営費 26億3,816万円
 県立障害福祉施設等の円滑な運営及び利用者等の支援を図るため、維持運営等に係る経費を負担する。

3 社会参加への支援、偏見や差別を排除する取組

(1) 社会参加を推進する環境づくり

- ア 神奈川県ライトセンター指定管理費 3億 597万円
 視覚障がい者の社会参加を促進するため、点字、録音図書等の貸出しやスポーツ振興事業等を行うとともに、視覚障がい者に対するボランティア活動を振興する。

- イ 神奈川県聴覚障害者福祉センター指定管理費 1億5,833万円
聴覚障がい者の社会参加を促進するため、字幕入りビデオ等の貸出しや各種情報提供を行うとともに、聴覚障がい者に対するボランティア活動を振興する。
- ウ 盲ろう者支援事業費 936万円
視覚と聴覚の両方に障がいのある盲ろう者の自立と社会参加を推進するため、盲ろう者支援センターの運営を行う。
- 一部 ⑨エ 聴覚障がい児等手話言語獲得支援事業費 1,333万円
聴覚障がいのある乳幼児及び児童の手話言語獲得を支援するため、乳幼児及び保護者が大人のろう者とふれあう手話交流会等について、新たに乳児・幼児の発達段階に応じた対応や学齢児への対応、ろう学校所在地域等への地域展開を行う。
- オ 手話言語普及推進事業費 1,309万円
ろう者とろう者以外の者の相互理解を深めるため、手話講習会や手話普及推進イベント、県民意見反映手続に係る手話動画の作成及び県出先機関での遠隔手話通訳サービス等を行う。
- カ みんなのバリアフリー街づくり推進事業費 693万円
バリアフリーの街づくりの取組を推進するため、「神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議」を通して、広く県民意見を収集するとともに、普及啓発事業を行う。また、カラーバリアフリー等の普及促進を図るため、事業者や施設管理者等を対象とした研修会を開催するほか、アドバイザーの派遣等を行う。
- ⑩キ バリアフリー対応「見える化」事業費 100万円
障がい者等の社会参加を促進するため、バリアフリー設備の設置状況や受けられる配慮の「見える化」に向けた新たな仕組みづくりについて、障がい者等及び事業者団体などで構成するワーキンググループを設置し、当事者目線で制度検討を進める。
- ⑪ク ソーラーカーポート設置促進事業費補助 1,800万円 ☆
悪天候の中でも車椅子使用者等が安心して外出できる環境づくりのため、商業施設等における障害者等専用駐車区画へのソーラーカーポートの設置に対して補助する。
- ケ 地域生活定着支援事業費 3,742万円
罪を犯した者で、高齢又は障がいにより福祉的な支援が必要な者等に対し、矯正施設退所後や刑事収容施設釈放後に、円滑に福祉サービスを受けられるよう、地域生活定着支援センターにおいて、地域生活への移行支援や自立促進を図る。
- コ 福祉バス運行事業費 3,698万円
障がい者の社会参加を促進し、文化、レクリエーション活動への参加の機会を拡大するため、福祉バス（車いす用リフト付き大型バス等）を運行する。

サ 軽度・中等度難聴児補聴器購入費補助 208万円
障害者総合支援法による補聴器支給の対象とならない軽度・中等度難聴児の言語の習得やコミュニケーション能力の向上を支援するため、補聴器購入費用を助成する市町村（政令市・中核市を除く）に対して補助する。

シ 失語症者向け意思疎通支援事業費 402万円
失語症者の意思疎通を支援するため、失語症者の日常生活のニーズを理解し、コミュニケーション技術などの支援技術を習得した意思疎通支援者の養成研修の実施や支援者の派遣を行う。

(2) 就労・雇用、経済的自立に対する支援

ア 未来型障がい者就労支援等事業費 154万円
分身ロボットを活用し、障がい者を県職員として在宅任用する。

イ 農福連携マッチング等支援事業費 354万円
障がい者による種まきや収穫、除草、片付けなどの就農体験会（お試しノウフク）を開催し、農家と障害福祉サービス事業所等とのマッチングを促進する。

ウ 工賃向上支援事業費 1,605万円
一般の企業等で働くことが難しい障がい者の収入を増加させるため、障害福祉サービス事業所等の生産活動を支援するとともに、複数の事業所が共同して受注や品質管理等を行う共同受注窓口を設置する。

エ 障害者就業・生活支援センター事業費 5,978万円 ☆
障がい者の職業生活における自立を図るため、就職や職場への定着が困難な障がい者及び就業経験のない障がい者に対し、障害者就業・生活支援センターにおいて、障がい者の家庭や職場の訪問等により、就業、日常生活及び社会生活上の支援を行う。

⑨ オ 障害者就業・生活支援センター支援力強化事業費 5,889万円 ☆
精神障がい者の障がい特性に対応できる高い専門性を持った職員を新たに配置することで、増加する精神障がい者への相談支援体制を整備する。

4 ともに生きる社会実現に向けた県民総ぐるみの取組

ア ともに生きる社会実現推進事業費 4,071万円 ☆
神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～やともに生きる社会かながわ憲章の理念の普及啓発のため、駅や公共施設内でのポスター掲示や地域イベントでのチラシ配布等を行う。また、障がい者団体等の活躍を、ホームページやSNSなど様々な媒体を活用して紹介する。

イ ともいきメタバース推進事業費 1,064万円
障がいの程度に関わらず誰もが一緒に楽しめるメタバースイベントや障がい者や支援者を主な対象としたデジタルコンテンツの作成方法を学べる講習会を実施し、作品を発表する場を設ける。

- ウ 共生社会推進加速化事業費 491万円
共生社会の実現に向けた障がい等の理解促進のための活動を行う「ともいきボランティア」を組織・運営するほか、市町村や企業・団体と連携して誰もが気軽に参加できるインクルーシブビーチクリーンを実施する。
- エ 障害者理解促進事業費 646万円
障がいに対する理解を促進するため、内部障がい等の方を対象としたヘルプマークの普及啓発や企業等における心のバリアフリー推進員の養成等を行う。
- ⑨オ 当事者目線の障害福祉普及啓発事業費 500万円 ☆
県民意識を醸成するため、当事者目線の障がい福祉について発信する全国フォーラムを開催する。
- ⑨カ 共生の場の創出事業費 200万円 ☆
障がいがあっても運転可能な「インクルーシブゴーカート」を活用して、誰もが気軽に参加できるイベントを実施する。
- ⑨キ メタバースを活用した居場所づくり事業費 658万円 ☆
障がい等による生きづらさや不安を軽減するため、メタバース上にアバターの姿で思いを語り合える場を新たに設ける。
- ⑨ク 都市型ユニバーサル農園推進事業費 973万円 ☆
農福連携を通じた共生社会への意識を高めていくため、障がい者や高齢者等、社会参加に不安がある多様な方が参加できるユニバーサル農園（農業体験農園）を開設し、その有効性について研究・分析する。
- ⑨ケ ろう者に対する理解促進事業費 466万円
県民が「見えない障がい」であるろう者の存在に気づき、理解を深めることができるよう、デフリンピック選手等が出演する動画を作成し、様々な媒体を活用して周知する。
- ⑨コ 国際手話普及事業費 332万円
国際手話の普及のため、手話通訳者等を対象とした国際手話の講座を開催する。
- 一部⑨サ 障がい者文化芸術普及支援事業費 2,672万円
年齢や障がい等にかかわらず、誰でも文化芸術を鑑賞・創作・発表できる機会を提供するため、事業所への相談支援、人材の育成、作品発表や舞台発表などを行う。
また、「ともいきアート」として障がい者等のアート作品の魅力を広く県民に伝えるため、新たに公募展を開催する。

施策9 困難な問題を抱える女性等への支援及び人権・男女共同参画施策の推進

1 困難な問題を抱える女性等への支援

- 一部⑨ア 困難女性つながりサポート事業費 4,141万円 ☆
複合的な困難を抱える女性に対応するため、民間支援団体の知見を活用し、困難を抱える女性の早期発見から相談、専門相談窓口への付き添い等、課題解決に向けて、寄り添った支援を実施する。
- ⑨イ 困難女性自立支援事業費 3,541万円 ☆
困難な問題を抱える女性の意思を尊重し、状況等に応じて、社会とのつながりを持った支援を行うため、民間アパート等を借上げ、一時保護から自立に向けた支援を実施する。
- ⑨ウ 困難女性支援団体補助事業費 2,207万円 ☆
困難な問題を抱える女性を早期に発見し、自立を支援するため、ICTの活用等によるアウトリーチ支援や居場所の提供等に対して補助する。
- ⑨エ 女性向け無料低額宿泊所への転換支援事業費 207万円 ☆
女性が入居可能な施設を増やすため、トイレや風呂が共同の寮タイプから、アパートタイプの施設への転換費用等に対して補助する。
- ⑨オ 女性相談一時宿泊事業費 55万円 ☆
相談したその日に、帰る場所がない等の状況におかれた女性の安全や、本人の意思決定の時間を確保し、悩みや不安に寄り添った支援につなげるため、一時的な居場所を提供する。
- カ 困難な問題を抱える女性等支援事業費 5,560万円
困難な問題を抱える女性及び配偶者等からの暴力被害者等に対する支援体制の充実を図るため、一時保護の委託や同伴児童への支援、医学的・心理学的ケア等を実施する。
- キ 配偶者暴力被害者等支援事業費補助 3,196万円
配偶者等からの暴力被害者の自立を支援するため、民間団体が行う心理専門職の配置等の先進的な取組に対して補助する。
- ク SNS・DV相談事業費 2,841万円
DV及びデートDVに悩む女性が相談しやすい環境を整備するため、SNSを活用した相談を実施する。
- ケ 女性相談支援センター維持運営費 9,636万円
困難な問題を抱える女性や配偶者等からの暴力被害者の相談に応じ、必要な支援を行うため、女性相談支援センター、保健福祉事務所等に女性相談支援員を配置し、女性相談支援センターで一時保護を実施する。

- コ 女性自立支援施設運営費 1億6,241万円
DV被害女性や、家庭生活の破綻・生活の困窮などにより正常な生活を営む上で様々な困難を抱える女性を支援するため、女性自立支援施設で保護及び自立支援を実施する。
- サ かながわ男女共同参画センター相談事業費 5,489万円
県の「配偶者暴力相談支援センター」として、DV相談（電話・面接・専門相談など）、DV啓発事業等を実施する。

2 ジェンダー平等社会の実現

(1) ジェンダー平等社会の実現に向けた教育促進や意識啓発

- ア かながわ男女共同参画センター人材育成・情報発信事業費 461万円
男女共同参画社会の実現に向けて、女性の社会参画やキャリア形成支援に関する講座（男性の意識改革・行動変革促進を含む）、市町村等と連携した意識啓発事業や情報発信を実施する。

- 一部(新)イ 男女共同参画実践事業費 532万円
県内企業等の女性活躍推進を始めとするダイバーシティ&インクルージョンを推進するため、会議や啓発講座を行うほか、男性が家事・育児に参画しやすい職場環境をつくるため、企業等の経営層向けセミナー等を実施する。

- ウ ライフキャリア教育かながわモデル発信事業費 82万円
社会に出る前の中学生・高校生を対象として、男女共同参画意識を醸成し、自分らしいライフプランをデザインする力を育成するため、出前講座や啓発冊子の配布によりライフキャリア教育の普及啓発を実施する。

(2) 女性の活躍と参画の促進

- ア 男女共同参画施策推進費 199万円
男女共同参画社会の実現に向けて、「かながわ男女共同参画推進プラン」を着実に推進する。

3 人権政策の総合的な推進

(1) 人権教育と人権啓発の推進

- ア 人権啓発事業費 3,000万円
人権問題に対する県民の理解と認識を深めるため、人権メッセージ展などの開催や啓発資料の作成・配布など幅広い人権啓発活動を行う。

(2) 人権尊重の視点に立った行政の推進

- ア 人権施策推進費 707万円
人権がすべての人に保障される地域社会づくりを目指して策定した「かながわ人権施策推進指針」に基づき、人権施策の総合的な企画、調整を行うほか、性的マイノリティの当事者支援事業や、ヘイトスピーチ対策事業等を実施する。

- イ 人権啓発推進費補助 299万円
県民への人権意識の一層の浸透を図るため、各分野で活動する人権団体等が実施する人権啓発講演会などの啓発活動や人権擁護活動に対して補助する。

ウ 同和問題対策推進事業費補助

350万円

同和関係団体で構成される神奈川県地域相談連絡協議会が実施する同和対策の普及啓発事業や、部落差別に起因する人権侵害相談等に対して補助する。

生活困窮者等への支援

施策10 生活困窮者支援の推進

1 孤独・孤立や生きづらさに悩む方への支援

(1) 孤独・孤立に陥っている方への支援

① ア 孤独・孤立対策推進事業費 215万円 ☆
誰にでも起こりえる孤独・孤立の問題に社会全体で対応するため、孤独・孤立対策を発信するポータルサイトを開設するとともに、相談窓口の広報を行う。

① イ 住居不安定者実態調査事業費 934万円 ☆
住居不安定者を適切な支援につなぐため、ネットカフェに常時寝泊まりする者のデータを調査・分析し、実態の把握及び支援の周知等を行う。

① ウ 生活困窮者の就労訓練促進事業費 82万円
就労訓練事業所における生活困窮者の受入を促進するため、事業所と連携し、生活困窮者の受入体制整備に係るモデル事業を実施する。

エ 生活困窮者情報発信・啓発事業費 351万円
生活困窮者に支援情報を届けるため、ポータルサイト及びチャットボットの運営、地域のコミュニティでの出前講座等を行う。

オ 生活再建支援事業費 535万円
失業や生活困窮により、住居を失ったり、またそのおそれがあるなど、不安定な居住状態にある者の生活再建を後押しするため、住居探しから定着までの一貫した支援を実施する。

カ 重層的支援体制構築支援事業費 6,930万円
「高齢」、「障がい」、「子ども」など、属性を問わない包括的な支援体制づくりに取り組む市町村に対して、職員等を対象とした研修や、アドバイザー派遣等を行う。また、社会福祉法に基づき市町村が行う重層的支援体制整備事業（多機関協働事業分）に要する経費を負担する。

キ 民生委員児童委員活動推進事業費 2億7,499万円
民生委員・児童委員の活動の推進と、資質の向上を図るため、民生委員・児童委員の活動費を負担するほか、神奈川県民生委員児童委員協議会の活動や市町村が行う民生委員・児童委員の担い手確保に向けた取組に対して補助する。

(2) 深刻な課題を抱える子ども・若者への支援

ア 子ども食堂支援事業費〔再掲〕 1,516万円

イ 子どもの生活状況調査事業費〔再掲〕 1,973万円

ウ かながわ若者サポートステーション事業費〔再掲〕 1,507万円

エ	SNSひきこもり等相談事業費 [再掲]	1,900万円	
オ	ひきこもり相談窓口インターネット広告事業費 [再掲]	220万円	
一部⑨カ	「ひきこもり×メタバース」社会参加支援事業費 [再掲]	2,344万円	☆
キ	ひきこもり支援推進事業費補助 [再掲]	28万円	
ク	青少年相談等支援事業費 [再掲]	4,327万円	
ケ	演劇活用青少年支援事業費 ひきこもり・不登校などの問題に取り組む団体等と協働し、演劇等のコミュニケーションスキルを活用したワークショップを行う。	52万円	
コ	青少年行政総合推進費 [一部] 子ども・若者育成支援推進法に基づき子ども・若者の一次総合相談窓口として、 かながわ子ども・若者総合相談センターを運営する。	17万円	
サ	子ども・若者未来応援推進事業費 進学や就職に困難を抱える若者たちを応援するため、NPO法人が行う進学等を 応援する活動や、アウトリーチによる寄り添い支援に対して補助する。	1,098万円	
シ	児童福祉施設退所児童等身元保証人確保対策費補助 [再掲]	34万円	☆
ス	児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業費補助 [再掲]	376万円	☆
セ	あすなろサポートステーション事業費 [再掲]	3,114万円	☆
ソ	児童保護措置費 [一部] [再掲]	9,059万円	☆
タ	ケアリーバー支援事業費 [再掲]	954万円	☆
⑩チ	ケアリーバー支援事業費補助 [再掲]	200万円	☆
⑩ツ	ケアリーバー等進学促進事業費 [再掲]	2,760万円	☆
テ	母子家庭等就業支援事業費 [再掲]	1,520万円	
ト	ひとり親養育費確保支援事業費 [再掲]	600万円	
ナ	ケアラー支援事業費 [再掲]	4,988万円	☆
ニ	ケアラー支援サービスモデル事業費 [再掲]	1,376万円	☆

- ⑨ヌ 高齢・成人ケアラーを支える普及・啓発事業費 [再掲] 659万円 ☆
- ⑨ネ ヤングケアラー支援事業費 [再掲] 100万円 ☆

(3) 社会的に弱い立場におかれている方への支援

- ⑨ア SNS・性的マイノリティ相談事業費 1,333万円
県内の性的マイノリティ(当事者の家族や関係者含む。)の方への相談対応、適切な関係機関へのつなぎ等の支援を行うため、SNSを利用した相談窓口を開設する。

施策11 とともに生き支えあう地域社会づくり

1 とともに生き支えあう社会をめざす地域福祉の推進

(1) 福祉コミュニティづくりを担う人材の育成・定着

- ア 民生委員児童委員活動推進事業費〔再掲〕 2億7,499万円
- イ かながわボランティアセンター事業費補助 206万円
ボランティア活動を推進するため、広域的な立場から、福祉教育の推進やボランティアリーダー等の人材育成、当事者活動支援等を行うかながわボランティアセンターの活動に対して補助する。
- ウ 災害時福祉支援体制整備事業費 550万円
大規模災害時に備え、福祉関係団体等と連携し、神奈川県災害派遣福祉チームの設置や事務局体制の整備を行うとともに、訓練、研修等を通じて災害時要配慮者(高齢者や障がい者等)に対する必要な支援体制を確保する。
- エ 地域包括ケア推進事業費〔再掲〕 684万円

(2) 福祉サービスを安心して利用することができるしくみづくり

- ア 福祉サービス第三者評価推進事業費補助 1,034万円
福祉サービスの質の向上及び利用者のサービス選択を支援するため、福祉サービス事業者を対象とする第三者評価機関の認証、評価調査者の研修や、評価結果の公表等を行うかながわ福祉サービス第三者評価推進機構の運営等に対して補助する。
- イ 権利擁護推進事業費補助 1億4,913万円
(ア) 福祉サービス利用援助事業費補助 1億2,310万円
判断能力が十分でない高齢者や障がい者等の権利擁護を推進するため、福祉サービス利用に関する援助や、日常的な金銭管理の支援等を行う日常生活自立支援事業に対して補助する。
- (イ) 福祉サービス苦情解決事業費補助 2,603万円
福祉サービス利用者の権利擁護を推進するため、福祉サービスへの苦情に対する相談・助言・あっせん等を行う苦情解決事業に対して補助する。
- ウ 権利擁護推進事業費(医療介護基金) 8,904万円
成年後見制度の第三者後見の担い手を育成するため、法人後見担当者の人材育成等を行う。また、市町村が行う市民後見人の人材育成、活動支援に対して補助する。
- エ かながわ成年後見推進センター事業費 2,169万円
判断能力が十分でない高齢者や障がい者等の権利擁護を推進するため、成年後見制度の相談や法人後見の支援等を行うかながわ成年後見推進センターを運営する。
- オ 地域生活定着支援事業費〔再掲〕 3,742万円

カ	未成年後見人報酬等補助 児童虐待の防止等を図り、子どもの権利利益を擁護するため、児童相談所長が認める子どもについて、家庭裁判所が選任した未成年後見人の報酬等に対して補助する。	328万円
(3) バリアフリーの街づくりと心のバリアフリーの推進		
ア	みんなのバリアフリー街づくり推進事業費〔再掲〕	693万円
⑨イ	バリアフリー対応「見える化」事業費〔再掲〕	100万円
⑨ウ	ソーラーカーポート設置促進事業費補助〔再掲〕	1,800万円 ☆
エ	障害者理解促進事業費〔再掲〕	646万円
一部⑨オ	障がい者文化芸術普及支援事業費〔再掲〕	2,672万円
カ	ともに生きる社会実現推進事業費〔再掲〕	4,071万円 ☆
キ	未来型障がい者就労支援等事業費〔再掲〕	154万円
ク	農福連携マッチング等支援事業費〔再掲〕	354万円
(4) 生活を支える福祉の充実		
ア	遺族等対策費 戦没者遺族等の福祉向上を図るとともに、県民に戦争体験や平和の尊さを継承するため、戦争等体験講演などを実施している（一財）神奈川県遺族会等に対して補助する。	966万円
一部⑨イ	外国籍県民等福祉給付金助成事業費補助 外国籍県民等の福祉の向上を図るため、無年金者となっている外国籍県民等の高齢者及び障がい者に福祉給付金を支給する市町村に対して補助する。 ※政令市・中核市への補助率格差を解消	724万円 ☆
ウ	中国残留邦人生活支援給付費 町村部の永住帰国した中国残留邦人等と、その配偶者で、世帯収入が一定の基準に満たない者に対して、老後の生活安定のため、生活支援給付や医療支援給付等を行う。	1,095万円
エ	生活困窮者自立促進支援事業費 生活困窮者等の自立の促進を図るため、自立相談支援機関の相談支援員が生活困窮者から相談を受け、就労等による自立に向けた支援を行う。また、社会資源の広域的な開拓や市域を越えたネットワークづくり等を行う。	7,255万円

- オ ワンストップ支援推進事業費 941万円
生活困窮者の相談をワンストップで受け止めるため、相談窓口の周知、出張相談会、相談支援員の研修等を行うことにより、相談から就労等までの寄り添った支援を推進する。
- カ 住居確保給付金支給費 600万円
離職または休業等により、経済的に困窮し住居を失うおそれがある方に住居と就労の機会を確保するため、家賃相当分の給付金を一定期間支給する。
- 一部 ①キ 生活困窮世帯の子どもの健全育成事業費 3,950万円
生活困窮世帯の子どもの健全育成のため、子ども支援員による家庭訪問、家庭学習を補完する学習の場や、安心して過ごせる居場所を運営する。また、寄附財源を活用し、自然活動や文化芸術活動などの体験活動を行う機会を提供する。
- ク 被保護者就労支援事業費 2,301万円
就労による経済的自立を支援するため、保健福祉事務所に就労支援員を配置し、生活保護受給者に対する就労意欲の喚起のための面接指導、公共職業安定所への同行訪問、就労後の職場定着に向けた相談等を行う。
- ケ 自立支援プログラム策定実施事業費 2,706万円
生活保護受給者の経済的、社会的、日常生活の面での自立を支援するため、保健福祉事務所において社会貢献活動や、中間的就労の機会を提供するなど、一人ひとりの生活保護受給者にとって必要な支援を行う。
- コ 生活保護適正実施事業費 7,108万円
生活保護制度の適正な運営を図るため、生活保護の認定事務に係る各種調査の充実及び医療扶助の診療報酬明細書の点検等を行う。
- サ 生活福祉資金貸付事業費等補助（国庫対象） 5,578万円
低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯の経済的な自立や、在宅福祉等の促進を図るため、県社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付事業に対して補助する。
- シ 生活保護扶助費 84億3,645万円
健康で文化的な最低限度の生活を保障し、県民生活の安心を支えるため、県所管域の生活困窮者に対して、生活保護法に基づき扶助費を支給する。
- 一部 ①ス 生活保護給付金 640万円
生活保護受給者及びその世帯の子どもの自立を促進するため、安定した職業に就いたこと等により保護の必要がなくなった者、生活保護世帯の子どもで大学等に進学する者または就職する者に対して、給付金を支給する。
- ①セ AI語り部次世代継承推進事業費 213万円
戦争の体験を語る「語り部」の高齢化に対応するため、新たな継承手段として、人工知能を活用した対話型のAI語り部を構築する。

ソ ケアラー支援事業費 [再掲]	4,988万円	☆
タ ケアラー支援サービスモデル事業費 [再掲]	1,376万円	☆
㊦チ 高齢・成人ケアラーを支える普及・啓発事業費 [再掲]	659万円	☆
㊦ツ ヤングケアラー支援事業費 [再掲]	100万円	☆

(5) 市町村における包括的な支援体制の整備

ア 重層的支援体制構築支援事業費 [再掲]	6,930万円
-----------------------	---------

2 生涯を通じた健康づくりの推進

(1) 未病改善の取組の推進

ア 介護・認知症未病改善プログラム事業費 [再掲]	850万円
イ 高齢者社会参画・生きがいづくり支援事業費 [一部] [再掲]	345万円

(2) 母子保健の推進

ア 未熟児等養育医療費	9,956万円
-------------	---------

出生時において、入院を必要とする未熟児が諸機能を回復することにより健やかな発育を促すために要する医療費等の一部を市町村に対して負担する。

IV 【参考】 介護・医療・児童関係費

No.①～⑮:健康医療局所管
No.16～58:福祉子どもみらい局所管

(単位:千円)

No	事業名	令和6年度 当初予算額(A)	令和5年度 最終予算額(B)	増減額 (A-B)	対前年度比 (A/B)
①	国民健康保険基盤安定制度負担金(保険料軽減分)	17,854,620	17,470,562	384,058	102.2%
②	国民健康保険高額医療費負担金繰出金	7,069,672	6,941,504	128,168	101.8%
③	国民健康保険都道府県財政調整繰出金	40,519,982	41,061,242	△541,260	98.7%
④	国民健康保険基盤安定制度負担金(保険者支援分)	3,682,242	3,631,434	50,808	101.4%
⑤	国民健康保険特定健康診査等負担金繰出金	720,029	680,608	39,421	105.8%
⑥	国民健康保険産前産後保険料負担金	33,602	10,814	22,788	310.7%
1	国民健康保険 計	69,880,147	69,796,164	83,983	100.1%
⑦	後期高齢者医療定率負担金	83,060,906	80,055,734	3,005,172	103.8%
⑧	後期高齢者医療高額医療費負担金	7,238,500	6,616,203	622,297	109.4%
⑨	後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金	14,624,189	12,911,232	1,712,957	113.3%
⑩	後期高齢者医療財政安定化基金積立金	1,553	1,000	553	155.3%
⑪	後期高齢者医療財政安定化基金交付金※1	-	-	-	0.0%
⑫	後期高齢者医療財政安定化基金貸付金※2	1,000,000	-	1,000,000	皆増
⑫	結核一般患者医療費	4,163	5,154	△991	80.8%
⑬	感染症患者入院医療費	33,510	40,292	△6,782	83.2%
⑭	精神障害措置患者医療費	346,250	321,079	25,171	107.8%
⑮	難病患者医療費	4,608,147	4,414,238	193,909	104.4%
16	被爆者医療援護事業費	1,235,274	1,268,072	△32,798	97.4%
17	未熟児等養育医療費	99,564	96,849	2,715	102.8%
2	医療費 計	112,252,056	105,729,853	6,522,203	106.2%
18	介護給付費負担金	104,408,320	99,620,700	4,787,620	104.8%
19	地域支援事業費交付金	5,868,005	5,703,069	164,936	102.9%
20	低所得者保険料軽減負担金	1,812,451	2,217,608	△405,157	81.7%
3	高齢者福祉 計	112,088,776	107,541,377	4,547,399	104.2%
21	児童扶養手当給付費	869,705	805,316	64,389	108.0%
22	児童保護措置費	4,541,849	4,267,738	274,111	106.4%
23	児童手当負担金	18,327,215	17,645,388	681,827	103.9%
24	母子生活支援施設等保護費負担金	14,917	15,015	△98	99.3%
25	育成医療費負担金	10,724	10,724	-	100.0%
26	小児慢性特定疾病医療費	492,085	508,944	△16,859	96.7%
27	保育所給付費負担金	39,510,908	37,799,018	1,711,890	104.5%
28	幼稚園給付費負担金	6,914,964	5,890,341	1,024,623	117.4%
29	認定こども園給付費負担金	11,642,337	10,912,059	730,278	106.7%
30	小規模保育給付費負担金	4,514,733	4,326,719	188,014	104.3%
31	家庭的保育給付費負担金	230,126	236,097	△5,971	97.5%
32	居宅訪問型保育給付費負担金	5,195	1,706	3,489	304.5%
33	事業所内保育給付費負担金	105,989	130,524	△24,535	81.2%
34	私設保育施設等利用給付費負担金	867,563	815,966	51,597	106.3%
35	私立幼稚園利用給付費負担金	3,497,977	3,865,828	△367,851	90.5%
36	実費徴収補足給付事業費補助(私立幼稚園)	26,814	24,628	2,186	108.9%
4	児童福祉 計	91,573,101	87,256,011	4,317,090	104.9%
37	在宅重度障害者等手当支給費	643,020	599,400	43,620	107.3%
38	特別障害者手当等給付費	68,650	66,555	2,095	103.1%
39	心身障害者扶養共済制度実施費	338,323	342,719	△4,396	98.7%

No	事業名	令和6年度 当初予算額(A)	令和5年度 最終予算額(B)	増減額 (A-B)	対前年度比 (A/B)
40	障害福祉サービス費等負担金	45,265,151	42,560,667	2,704,484	106.4%
41	障害者療養介護医療費負担金	192,875	210,734	△17,859	91.5%
42	障害者補装具購入等負担金	489,603	487,169	2,434	100.5%
43	相談支援給付費等負担金	600,423	604,877	△4,454	99.3%
44	障害者自立支援医療費負担金（更生医療）	2,932,207	3,043,443	△111,236	96.3%
45	障害者自立支援医療費負担金（精神通院医療）	5,842,490	5,505,149	337,341	106.1%
46	障害児通所給付費負担金	15,057,989	13,150,874	1,907,115	114.5%
47	障害児施設等措置費	1,029,417	930,897	98,520	110.6%
48	障害児入所給付費	405,328	396,433	8,895	102.2%
5 障害福祉 計		72,865,476	67,898,917	4,966,559	107.3%
49	生活保護給付金	6,405	6,559	△154	97.7%
50	生活保護扶助費	7,149,479	6,845,600	303,879	104.4%
51	生活保護扶助費市分県負担金	1,286,973	1,434,921	△147,948	89.7%
52	中国残留邦人生活支援給付費	10,955	4,303	6,652	254.6%
53	住居確保給付金支給費	6,000	9,141	△3,141	65.6%
54	被爆者等健康診断事業費	20,079	20,459	△380	98.1%
55	進学準備給付金（生活保護給付金に統合）	-	-	-	-
56	女性自立支援施設指定管理費（法令義務分）	127,520	113,889	13,631	112.0%
57	かいた婦人の村入所者処遇委託費	15,554	13,468	2,086	115.5%
58	女性相談支援センター一時保護所運営費	10,648	10,648	-	100.0%
6 その他福祉 計		8,633,613	8,458,988	174,625	102.1%
合計		467,293,169	446,681,310	20,611,859	104.6%
No. ①～No. ⑮ 健康医療局所管分 計		180,797,365	174,161,096	6,636,269	103.8%
No. 16～No. 58 福祉子どもみらい局所管分 計		286,495,804	272,520,214	13,975,590	105.1%

※1 当初予算への計上は隔年で令和6年度は計上なし。令和5年度は当初予算で計上したが、2月補正で全額補正減（△696,636千円）
 ※2 令和5年度は当初予算で計上したが、2月補正で全額補正減（△1,000,000千円）

